

Panasonic

DVD/ビデオ CD/CD プレーヤー 取扱説明書

品番 **DVD-RV70**



このたびは、DVD/ビデオ CD/CD プレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

DVD
VIDEO

COMPACT
disc
DIGITAL VIDEO

保証書別添付

上手に使って上手に節電

RQT5764-S

DVD-Video のリージョン番号について

DVD-Video には、発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられたリージョン番号があります。本機の番号は「2」です。

本機は、「2」（または「2」を含むもの）と「ALL」が表示されたディスクの再生が可能です。

ディスクのジャケットもご参照ください。



再生できるディスク

名称	ロゴマーク	記録内容	本書内マーク
DVD-Video		音声と映像	
ビデオ CD		音声と映像	
音楽 CD		音声	

■ ジャケット上のマークについて

下記は一例です

< 音声数 > < 字幕数 > < アンゲル数 >



数字は記録されている音声 / 字幕 / アンゲルの数を示します。

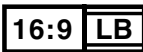
< 画面サイズ (横 : 縦) >



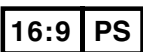
4 : 3 の標準サイズ



レターボックス (4 : 3 で上下に黒帯が入った画面)



16 : 9 のワイドサイズ
標準サイズのテレビではレターボックスで再生される。



16 : 9 のワイドサイズ
標準サイズのテレビではパン & スキャン (両側または片側が切れた画面) で再生される。

テレビに映し出される映像は、「画面に映し出される映像の横縦比」(P.30 ページ)によっても異なります。

再生できないディスク

CD-R、フォト CD (絶対に再生しないでください。ディスクの内容が壊れる恐れがあります。)

リージョン番号「2」「ALL」以外の DVD

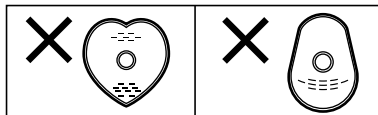
PAL 方式で記録された DVD / ビデオ CD

DVD-ROM DVD-R DVD-RAM DVD-Audio DVD+RW

DVD-RW CD-ROM CD-RW CDV CD-G

CVD VSD SVCD SACD など

また、ハート型など、特殊形状のディスクはご使用にならないでください。
(機器の故障の原因となります。)



お知らせ

DVD、ビデオ CD のなかには、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しないことがあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。

もくじ

まず
準備しよう

すぐ
使ってみる

もっと
使いこなす

もし
必要なとき

安全上のご注意	4
付属品のご確認 / リモコンの準備	5
テレビと接続する	6
テレビに合わせて設定する	7

ディスクを再生する

再生を止める	9
静止（一時停止）する / 場面・曲を飛びこす / 早送り・早戻しする	10
場面・曲を番号指定で再生する / スロー再生する / コマ送り・コマ戻しする / メニュー画面に戻す	11

順番を変えて再生する

好みの順に再生する（プログラム再生） / 順不同に再生する（ランダム再生）	13
---	----

繰り返し再生する

繰り返し再生する（リピート再生） / 好みの場所を繰り返し再生する（A-Bリピート再生）	14
--	----

映画・音楽ソフトをもっと楽しむ

音声を切り換える / 字幕言語を切り換える / アングルを切り換える	15
映画鑑賞向けの画質にする	16
2本のスピーカーやヘッドホンでサラウンド効果を楽しむ（V.S.S.）	17

GUI画面を使った便利な機能

- ～映画のセリフを聞きやすくする（シネマボイスモード）～
- ～もう一度再生したいところにマークを付ける（マーカー）～

絵表示（GUI画面）を使って操作する

GUI画面の操作方法	18
ディスク情報画面の表示例 / シャトル画面の表示例	19
本機情報画面の表示例	20

ホームシアター

より迫力ある音声で楽しむ

初期設定を変更する

初期設定一覧表	24
設定方法	26
視聴制限	27
スピーカーの設定	28
デジタル出力の設定	29

画面に映し出される映像の横縦比 / 別売品のご紹介

使用上のお願い・お手入れ / 著作権について

用語解説

Q & A（よくあるご質問）

故障かな!?!?

各部のなまえ

保証とアフターサービス

主な仕様

裏表紙

準備

使いかた

ご参考



安全上のご注意




必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

電源コードについて

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

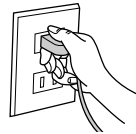
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

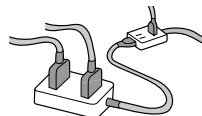
コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない



ショートや発熱により火災や感電の原因になります。機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。特にお子様にはご注意ください。

分解、改造をしない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

内部の点検や修理は、販売店へご相談ください。

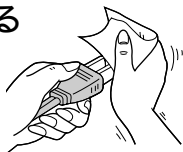
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

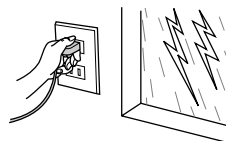
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

雷について

雷が鳴ったら、機器や電源プラグに触れない



接触禁止



感電の恐れがあります。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

機器内部に金属や水、異物が入ったとき煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

不安定な場所に設置しない



上に大きなもの、重いものを載せない
高い場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない
機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない



機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

ご使用について

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

ディスクトレイに指を入れ、挟まれないように注意する



指に注意

閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

乾電池について

電池は正しく取り扱う



⊕と⊖は正しく入れる
長期間使用しないときは、取り出しておく

電池は誤った使いかたをしない



新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない
乾電池は充電しない
加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない
ネックレスなどの金属物といっしょにしない
被覆のはがれた電池は使用しない
乾電池の代用として充電式電池は使わない

取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。

万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

付属品のご確認



付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
カッコ内の数字は買い替え時の品番を表します。

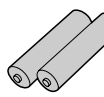
リモコン（1個）
（VEQ2367）



音声／映像コード（1本）
（VJA0788-D）



リモコン用乾電池（2本）

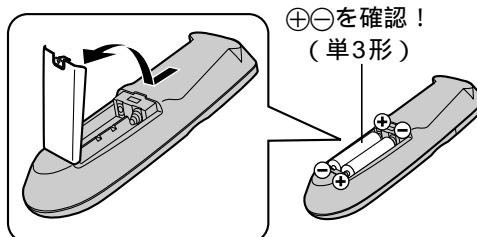


電源コード（1本）
（VJA0536）



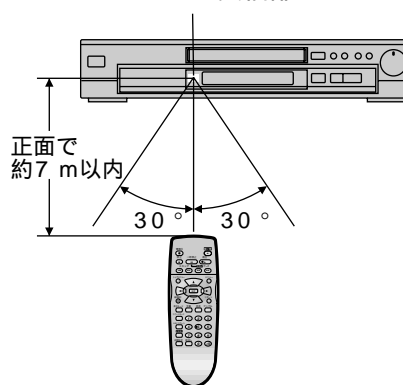
リモコンの準備

乾電池（付属）を入れる



リモコンの使用範囲

リモコン受信部



お願い

受信部とリモコンの間に障害物を置かない。
受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
他の機器のリモコンと同時に使わない。
受信部とリモコン先端のほこりに注意する。

本体をラックに入れて使用する時

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの使用範囲が短くなる場合があります。

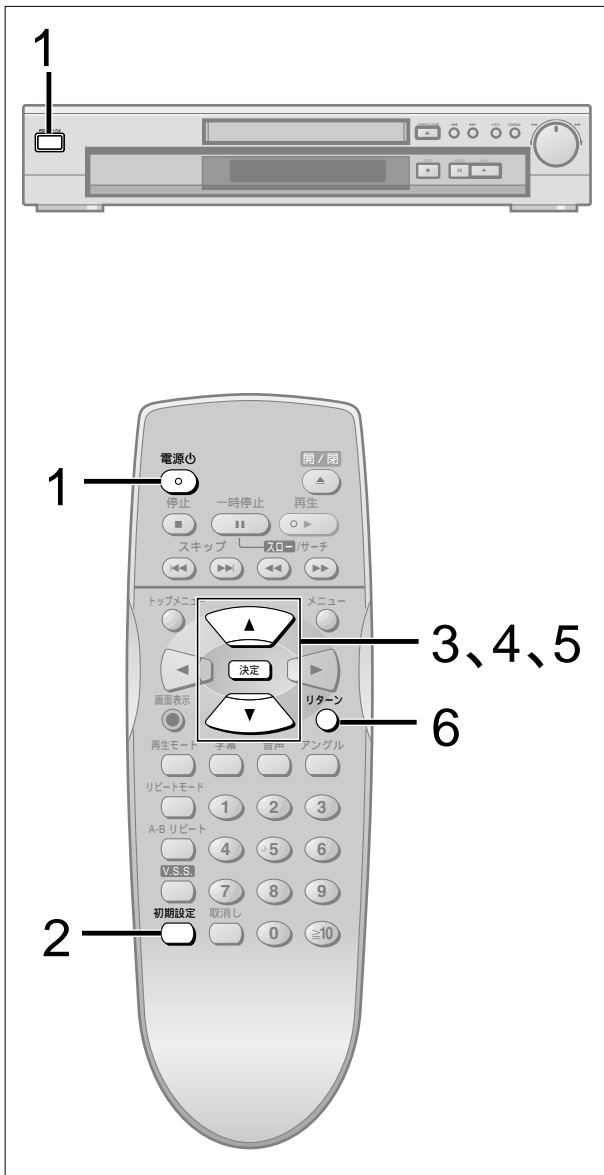
テレビに合わせて設定する

出荷時の設定は、テレビ画面の横縦比が 4 : 3 (標準サイズのテレビ) になっています。

4 : 3 のテレビに接続した場合は、設定する必要はありません。

準備

テレビの電源を入れて、外部入力を切り換える。
(「ビデオ 1」など)



■ ひとつ前の画面に戻るには
[リターン]を押す

お知らせ

テレビのメーカーや機種によっては、最適な設定が右記と異なる場合があります。
GUI画面を使って画質を調整することもできます。
(「P.20 ページ「画質モード」)

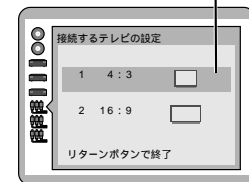
- 1 電源のボタンを押して電源を入れる
- 2 初期設定のボタンを押して初期設定画面を表示する



- 3 → 押して “6 接続する TV” を選ぶ
- 4 → 押して テレビ画面の横縦比を選ぶ

4 : 3
標準サイズのテレビ
16 : 9
ワイドサイズのテレビ

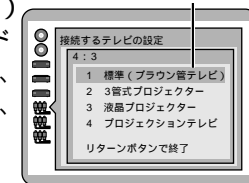
出荷時の設定



- 5 → 押して テレビの種類を選ぶ

「4 : 3」、「16 : 9」、いずれを選んだときも以下の画面が表示されます。接続したテレビに合わせて設定してください。

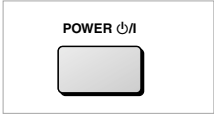


出荷時の設定



標準 (ブラウン管テレビ)
スタンダードテレビ、ワイドテレビ、ハイビジョンテレビ、ワイドクリアビジョンテレビ、ワイドプラズマテレビなど
3管式プロジェクター
ビデオプロジェクターなど
液晶プロジェクター
液晶プロジェクター、液晶テレビなど
プロジェクションテレビ
プロジェクションテレビなど

- 6 リターンボタンを押して設定を終了する

DVD VCD CD

- 1  押して
電源を入れる
- 2  押して
トレイを開け、ディスクをおく
- 3  押す
トレイが閉まり、再生が始まります。
(メニュー画面を表示したときは [F] 下記)

表示窓(例: DVD の場合)



お知らせ

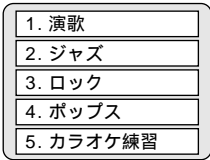
すでにディスクが入っているときは、[▶] (再生) を押すと自動的に電源が入り、再生が始まります。

本機の [▲^{オープン}OPEN/CLOSE] [▶^{プレイ}PLAY] リモコンの [▲開/閉] [▶再生] を押しても電源を入れることができます。

映像や音声が出るまでに時間がかかることがあります。本機の故障ではありません。

メニュー画面を表示したときは

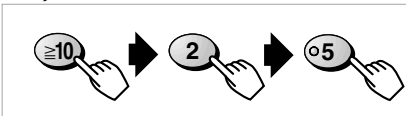
例)



DVD の場合、カーソルボタン [▲、▼、◀、▶] を操作して項目を選び、[決定] を押しても選べます。

数字ボタンで 2 ケタの番号を入力するには

例) 25



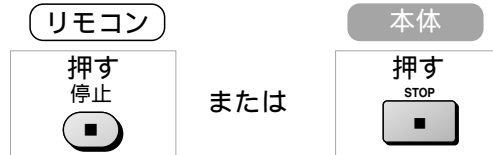
その他のメニュー操作

ディスクにより異なりますので、ディスクのジャケットもご参照ください。

- [▶▶] : 次のメニューを出す
- [◀◀] : 一つ前のメニューに戻る
- [トップメニュー] : 最初のメニューに戻る
- [メニュー] : メニュー画面を出す
- [リターン] : メニュー画面を出す

再生を止める

再生中



表示窓に “▷” が点滅しているときは、止めた位置が記憶されています。(続き再生メモリー機能)
“▷” 点滅中 [▶] (再生) を押すと、止めた位置から再生が始まります。

DVD の場合は、さらに右の画面を表示します。

再生ボタンを押すと、
あらずじりプレイになります

表示中に [▶] (再生) を押すと、あらずじりプレイになります。[▶] (再生) を押さずに放置しておくと画面が消え、止めた位置から再生が始まります。

あらずじりプレイ:

再生を止めた位置までの各チャプターの冒頭を再生した後、止めた位置から再生が始まります。(同一タイトル内でのみ働きます。)

続き再生メモリー機能を解除するには

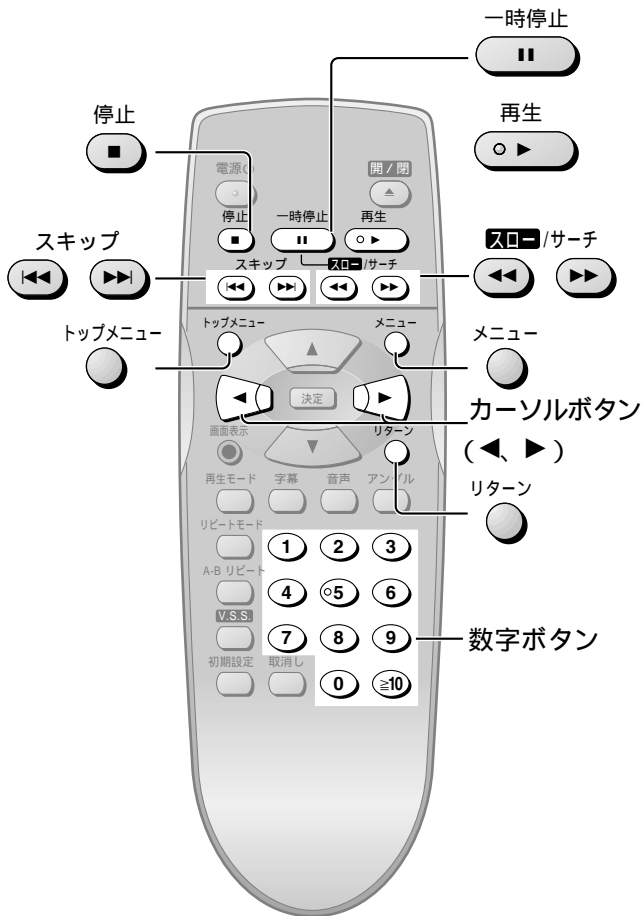
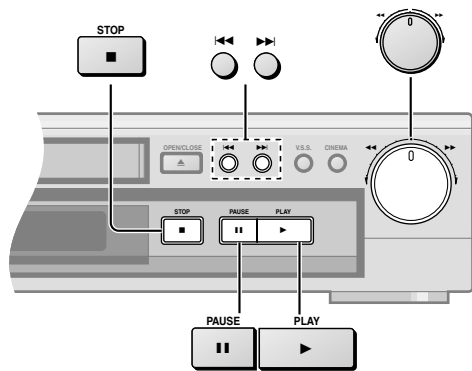
“▷” 点滅中 [■] を押す

お知らせ

あらずじりプレイのできない DVD もあります。
続き再生メモリー機能は電源を切っても働いています。(コンセントから電源プラグを抜いたときは、解除されます。)
トレイを開けると解除されます。
再生中、表示窓に経過時間が表示されないときは動きません。

使いかた

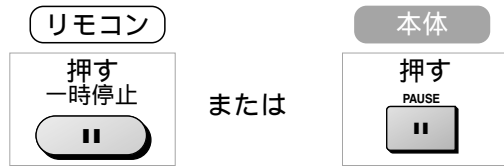
ディスクを再生する（つづき）



静止（一時停止）する

DVD VCD CD

再生中



[▶] (再生) を押すと、通常再生に戻ります。

場面（チャプター）・曲（トラック）を飛びこす

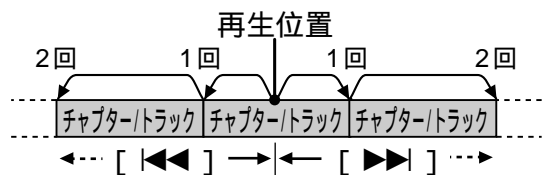
DVD VCD CD

再生中 / 静止（一時停止）中



[◀◀]: 戻る [▶▶]: 進む

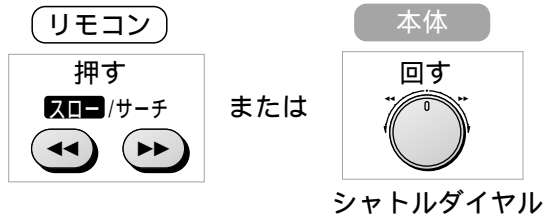
押した回数だけスキップします。



早送り・早戻しする

DVD VCD CD

再生中



[◀◀]: 戻る [▶▶]: 進む

押すたびに（本体では回していくと）速くなります。（5段階）

シャトルダイヤルから手を離すと、通常再生に戻ります。

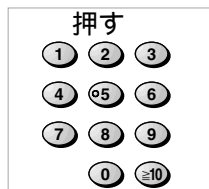
[▶] (再生) を押すと、通常再生に戻ります。
DVD / ビデオ CD は早送り 1 速時のみ音声は聞こえます。音声を消すこともできます。（☞ 24 ページ “エキスパート設定”）

場面(タイトル)・曲(トラック)を番号指定で再生する

DVD VCD CD

停止中

リモコン



選んだタイトル/トラックから再生が始まります。
(プレイバックコントロール付ビデオCDの場合
☞ 下記)

カラオケDVD、ビデオCD、CDの場合は再生中でも働きます。

ディスクや再生状態によって働かないことがあります。

< プレイバックコントロール付ビデオCDの場合 >

- メニュー再生を解除してから操作してください。
- 再生中表示窓の“PBC”が消えるまで[■]を押す
 - 数字ボタンを押す

メニュー再生に戻すには

- [■]を数回押して表示窓の“▷”を消す
- [▶] (再生) または [メニュー] を押す
表示窓に“PBC”が点灯します。

スロー再生する

DVD VCD

静止(一時停止)中

リモコン



または



シャトルダイヤル

[◀◀]: 戻る (DVDのみ) [▶▶]: 進む

押すたびに(本体では回していくと)速くなります。(5段階)

シャトルダイヤルから手を離すと、静止(一時停止)状態に戻ります。

[▶] (再生) を押すと、通常再生に戻ります。

コマ送り・コマ戻しする

DVD VCD

静止(一時停止)中

リモコン



[◀]: 戻る (DVDのみ) [▶]: 進む

押し続けると、連続してコマ送り/コマ戻し再生になります。

[▶] (再生) を押すと、通常再生に戻ります。

[■] を押してもコマ送りできます。

メニュー画面に戻す

DVD VCD

< DVD >
再生中

リモコン



< ビデオ CD >
再生中

リモコン

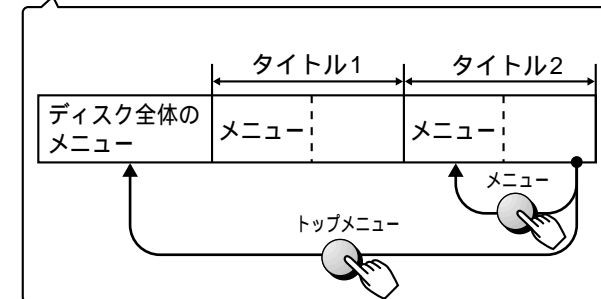


< 複数のメニューを持つDVDの場合 >

[トップメニュー] を押してもメニュー画面に戻すことができます。

ただし[メニュー] を押したときと[トップメニュー] を押したときとで表示されるメニューが異なる場合があります。

例えばタイトル2再生中にそれぞれのボタンを押すと

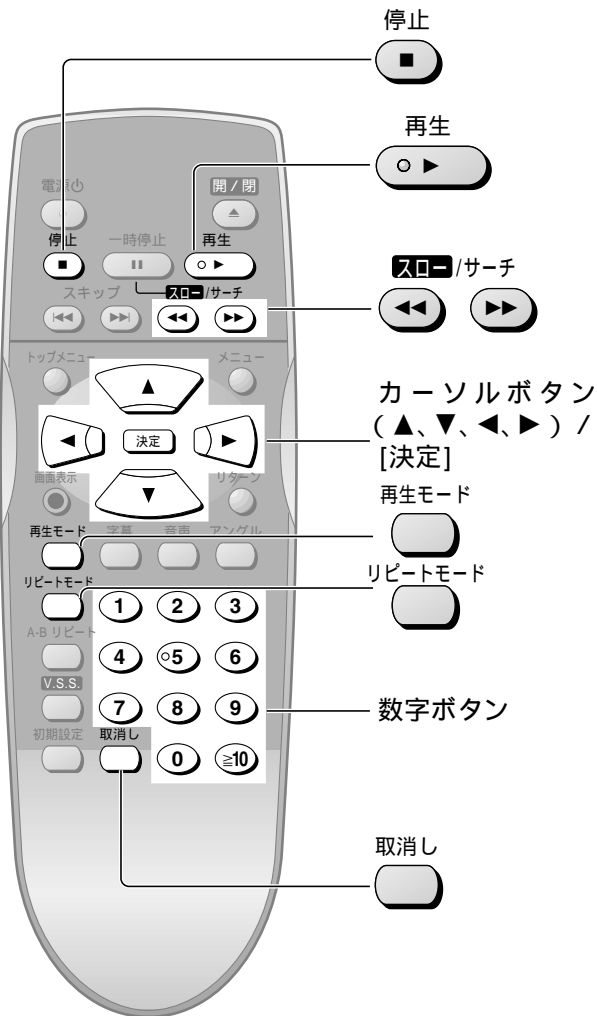
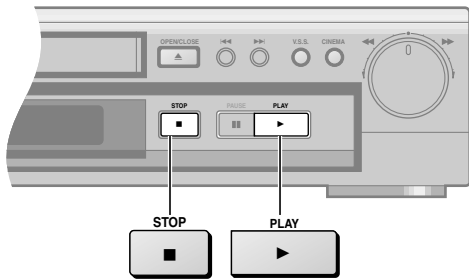


メニューの内容は、ディスクによって異なりますが、ここでは一般的な操作方法を紹介しています。

お知らせ

プレイバックコントロール付ビデオCDのメニュー再生中は[◀◀、▶▶]や[◀、▶]が正しく働かないことがあります。(☞ 32 ページ「プレイバックコントロール」)

順番を変えて再生する



停止中

リモコン

再生モード



押して

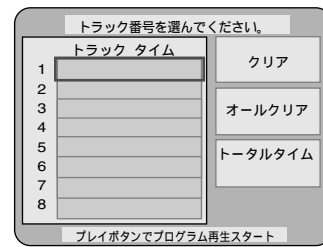
プログラム再生かランダム再生を選ぶ

ボタンを押すたびに切り換わります。

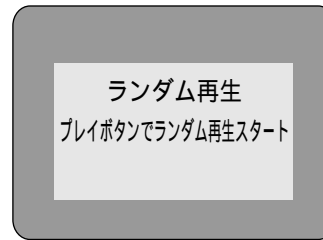
“⊙”が表示されたときは、[■]を押して表示窓の“▷”を消してから[再生モード]を押してください。

A 好みの順に再生する (プログラム再生)

(最大32トラックまで)



B 順不同に再生する (ランダム再生)



通常再生に戻る

それぞれの画面を表示して13ページの操作を行うと、選んだ再生モードで再生が始まります。

再生が終了したら

停止し、それぞれの画面に戻ります。

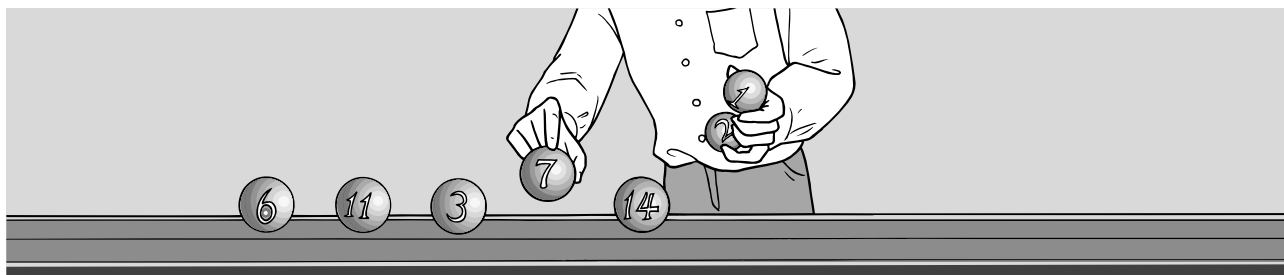
通常の再生に戻すには

- 1 [■]を数回押して表示窓の“▷”を消す
- 2 [再生モード]を押して通常再生に切り換える
- 3 [▶] (再生)を押す

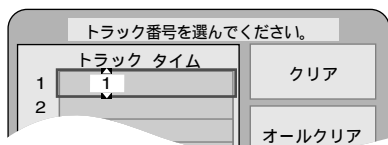
画面表示を消すには

[再生モード]を数回押す

A 好みの順に再生する (プログラム再生)



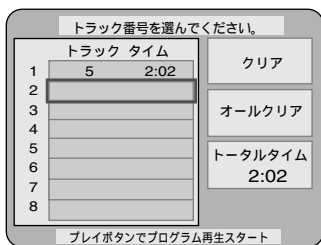
1 [決定]を押す



- 2 カーソルボタン[▲、▼]を操作してトラックを選び[決定]を押す
カーソルボタン[▲、▼]を操作するたびに
1 ← 2 ← ----- → オール
↑

必要な手順 1、2 を繰り返してください。

“トータルタイム”には、予約合計時間が表示されます。
“オール”を選ぶと全曲が予約されます。

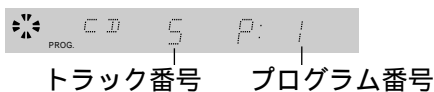


3 [▶] (再生) を押す

手順 1、2 のかわりにリモコンの数字ボタンでトラックを選ぶこともできます。

[◀◀、▶▶]を押すと画面に表示されていない前後の予約画面を確認できます。

表示窓だけ見ながら予約をすることもできます。



■ プログラム再生中に予約内容を変更するには [■] を数回押す
プログラム再生画面が表示されます。それぞれ以下の操作を行ってください。

< 予約を部分変更するには >

- 1 カーソルボタン[▲、▼]を押して変更するトラックを選ぶ
- 2 数字ボタンを押して変更する

< 予約を 1 つずつ取り消すには >

- 1 カーソルボタン [▲、▼] を押して取り消すトラックを選ぶ
- 2 [取消し]を押す

[取消し]を押すかわりにカーソルボタンで“クリア”を選び[決定]を押しても操作できます。

< 予約を全て取り消すには >

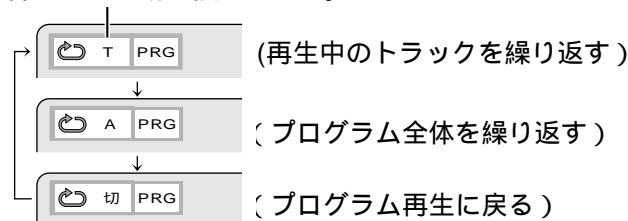
- 1 カーソルボタン [▲、▼、◀、▶] を押して“オールクリア”を選ぶ
- 2 [決定]を押す

お知らせ

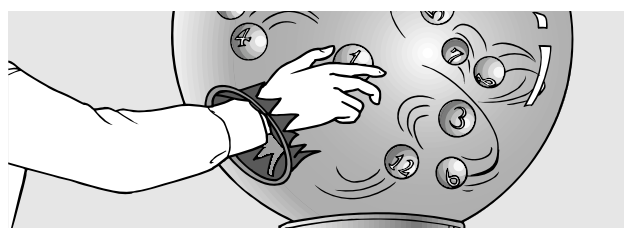
予約は、電源を切るかトレイを開けるまで保持されます。

こんなこともできます

■ 予約したトラックを繰り返し再生するには (プログラムリピート再生)
プログラム再生中、リモコンの [リピートモード] を押す (P.14 ページ)
押すたびに切り換わります。



B 順不同に再生する (ランダム再生)



リモコン

押す
再生



本体

押す

PLAY



繰り返し再生する

DVD VCD CD



繰り返し再生する (リピート再生)

再生中
リモコン

リピートモード
押して
リピート再生の種類を選ぶ

ボタンを押すたびに切り換わります。

< DVD >

(チャプター) (タイトル全体) (通常再生)

< ビデオ CD / CD >

(トラック) (ディスク全体) (通常再生)

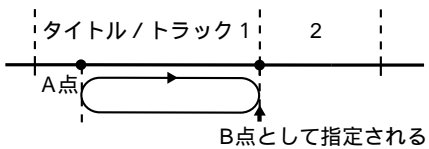
< プレイバックコントロール付ビデオ CD の場合 >
 メニュー再生を解除してから操作してください。
 1 再生中表示窓の “ P B C ” が消えるまで [■] を押す
 2 数字ボタンでトラックを選び再生を始める
 3 [リピートモード] を押す (☞ 上記)

お知らせ

再生中表示窓に経過時間が表示されないときは、リピート / A-B リピート再生が働きません。ただしこの場合でも、ビデオ CD のメニュー再生中は、A-B リピート再生は働きます。なお、これ以外のディスクでも働かないものもあります。
 リピート / A-B リピート再生中は表示窓に “ ” が点灯します。



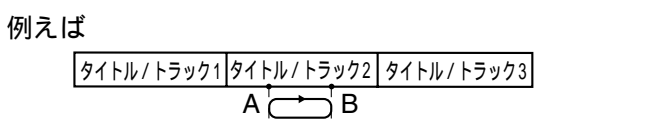
A-B リピート再生の B 点を指定する前にタイトル / トラックが終わったときは、その終点が B 点として指定されます。



DVD の場合、ディスク全体の繰り返し再生は選べません。

好みの場所を繰り返し再生する (A-B リピート再生)

同一タイトル / トラック内で、お好みの 2 点 (A 点と B 点) を指定して、その 2 点間を繰り返し再生することができます。

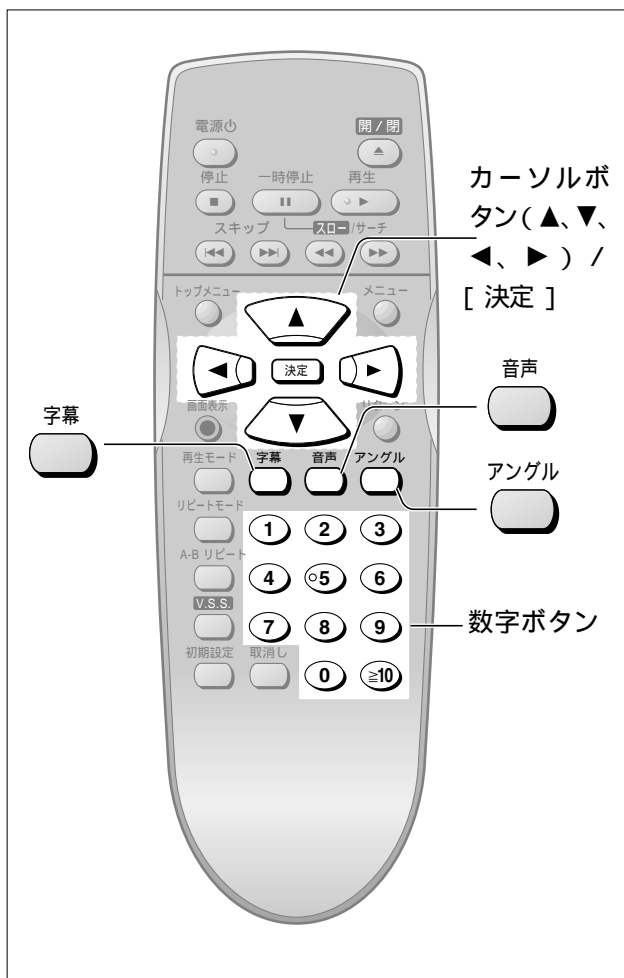


再生中
リモコン

A-B リピート
押して
A 点 (始点) と B 点 (終点) を指定する

A-B 間の繰り返し再生が始まります。
 ボタンを押すたびに切り換わります。

(A 点を指定) (B 点を指定) (通常の再生に戻る)
 (A-B リピート再生開始)



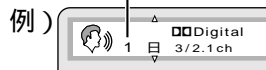
音声を切り換える

再生中

リモコン



押すたびに切り換わります。
(音声記録されていないときは“—”と表示)



字幕言語を切り換える

再生中

リモコン



押すたびに切り換わります。
(字幕記録されていないときは“—”と表示)



変更後は字幕が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。

■字幕を「入」「切」するには
カーソルボタン[◀、▶]を押す

アングルを切り換える

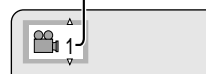
表示窓に“ANGLE”が表示されている場合は、複数のアングルが記録されています。1つの場面を角度や視点を変えて見ることができます。

再生中

リモコン



押すたびに切り換わります。



音声 / 字幕 / アングルの画面表示を消すには
[決定]を押す
しばらく放置しておいても自然に消えます。

お知らせ

カーソルボタン [▲、▼] や数字ボタンで音声 / 字幕 / アングル番号を選ぶこともできます。
一つしか音声 / 字幕 / アングルが記録されていない場合は“△、▽”マークは表示されません。



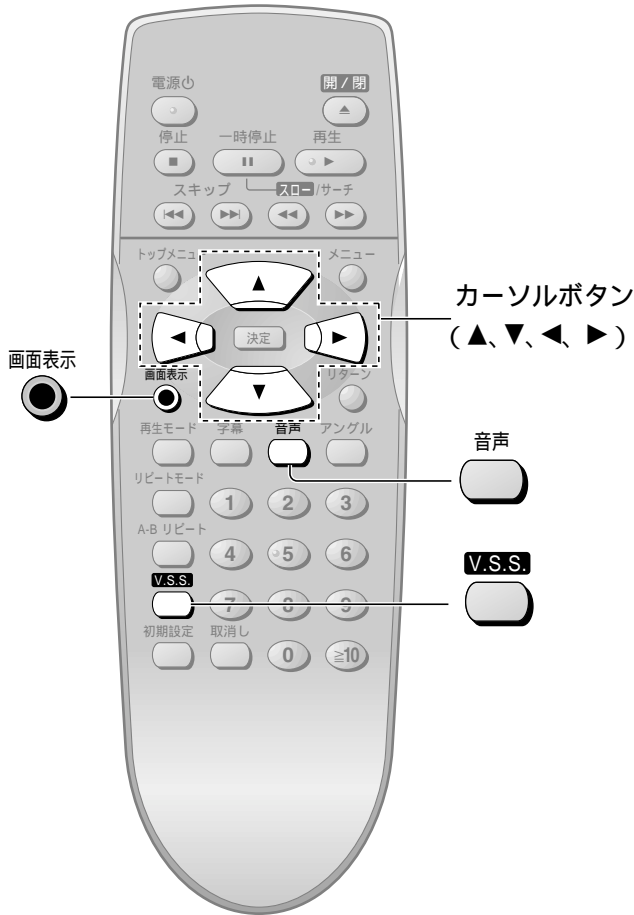
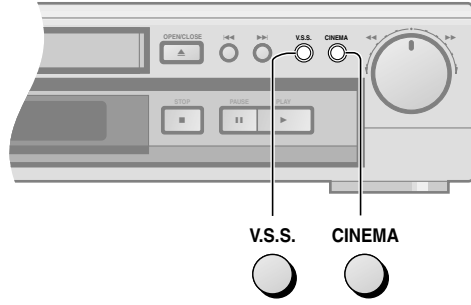
メニュー画面でのみ音声 / 字幕 / アングルの切り換えができるディスクもあります。
あらかじめアングル番号を指定しておくことができるディスクもあります。ディスクのジャケットなど
ご参照ください。

最初から好みの言語で聞きたい / 見たい場合は、音声 / 字幕言語の設定を行ってください (P.24 ページ
“ディスク言語”)。電源を入れたときやディスクを入れ替えたときはその設定が優先されます。

“⊙”が表示されたときは
ディスクに記録されていない音声 / 字幕 / アングル番号
を選んでいないため、入力できません。

使いかた

映画・音楽ソフトをもっと楽しむ（つづき）



映画鑑賞向けの画質にする

DVD

VCD

ブラウン管テレビ特有のガラガラした感じを抑え、しっとりしたやさしい映像を実現します。

暗くて見えにくい場面でも、人物などが見えやすいように、画面の暗部の輪郭を忠実に再現します。

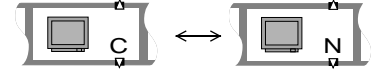
再生中

本体

押す
CINEMA



ボタンを押すたびに切り換わります



(映画鑑賞向けの画質) ↔ (通常の画質)

お知らせ

GUI画面を使っても同様の操作ができます。

(☞20ページ「画質モード」)

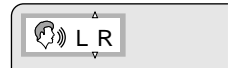
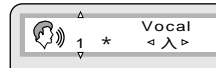
こんなこともできます

■ カラオケモードの切り換え：カラオケDVDやビデオCDのカラオケディスクで、ボーカルの入/切ができます。

1 再生中、[音声]を押して画面表示を出す

< DVD >

< ビデオ CD >



2 好みのモードを選ぶ

DVDカラオケ（ソロ）の場合

カーソルボタン [◀、▶] を押して、ボーカルの「---（切）」「入」を切り換える

DVDカラオケ（デュエット）の場合

カーソルボタン [◀、▶] を押して、ボーカルの「---（切）」「1+2（入）」「V1（入）」「V2（入）」を切り換える

ビデオCDの場合

カーソルボタン [▲、▼] または [音声] を押して、ボーカルの「LR」「L」「R」を切り換える

お知らせ

本機には直接マイクを接続できません。カラオケをお楽しみになるには、マイク端子付きのAVアンプなどに接続してください。

■ GUI画面を使った便利な機能

シネマボイスモード：映画のセリフを聞きやすくする（☞20ページ）

マーカー：もう一度再生したいところにマークを付ける（☞20ページ）

2本のスピーカーやヘッドホンでサラウンド効果を楽しむ(V.S.S.)

DVD

(ドルビーデジタル2ch以上のディスク)

V.S.S.(バーチャルサラウンドサウンド)機能を使うと、音に広がりを与え、フロントスピーカー(L/R)やヘッドホンだけでサラウンド効果を楽しむことができます。

V.S.S.には以下の2つのモードがあります。

V.S.S. : スピーカーで楽しむとき

ヘッドホンV.S.S. : ヘッドホンで楽しむとき

出荷時は、V.S.S.に設定されています。

<サラウンド信号があるディスクの場合>

音に広がりが出るほか、スピーカーの存在しない横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。

準備

スピーカーやヘッドホンを接続してください。(本機にはヘッドホン端子がありません。ヘッドホンで楽しみたいときは、ヘッドホン端子付きのAVアンプなどと接続してください。)

接続した機器のサラウンド機能を「切」にしてください。

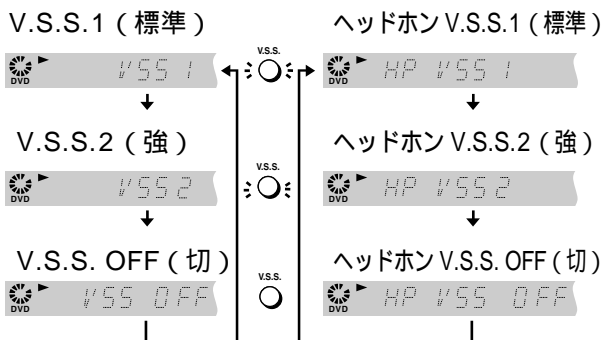
再生中



押すたびにレベルが切り換わります。

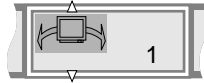
V.S.S./ヘッドホンV.S.S.が“1”(標準)あるいは“2”(強)のときは、本体のV.S.S.ボタンが点灯します。

表示窓



V.S.S.モードを切り換えるには

- 再生中[画面表示]を押してGUI画面(☞20ページ「本機情報画面」)を表示する
- カーソルボタン[◀、▶]を操作してV.S.S.アイコンを選ぶ



- カーソルボタン[▲、▼]を操作してV.S.S.モードを選ぶ

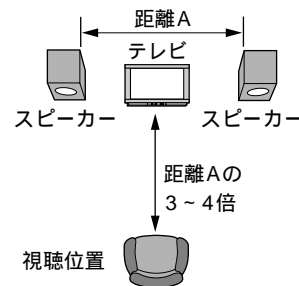
<V.S.S.>

<ヘッドホンV.S.S.>



接続した機器に合わせて正しく設定してください。

<V.S.S.の効果的な視聴位置>



<テレビのスピーカーを使う場合>
テレビの横幅=距離A

使いかた

お願い

ディスクによっては、音声がひずむことがあります。その場合はV.S.S.を“OFF”(切)にしてください。ヘッドホンを使わないときは、V.S.S.モードをV.S.S.にしてください。

お知らせ

GUI画面を使っても同様の操作ができます。(☞20ページ「V.S.S.モード/V.S.S.レベル」)ディスクによってはサラウンド効果が出にくいものや、出ないものがあります。

絵表示 (GUI画面) を使って操作する

シー・ユー・アイ グラフィカル・ユーザー・インターフェース

GUI (Graphical User Interface) とは

「画面を見ながら操作ができる」ことを意味し、本機の場合はディスクや本機の情報などを表示する細長い画面を「GUI画面」と呼びます。情報を確認しながら内容を変更できます。



画面表示を消すには
[リターン]または[取消し]を押す

お知らせ

表示内容はディスクによって異なります。ディスクや再生状態(停止中など)によっては操作できないものがあります。枠の“▲、▼”マークはカーソルボタン[▲、▼]で変更できることを示します。GUI画面が欠けたり表示されなかったりする場合、表示される位置を変えることができます。また、GUI画面の色を変えることもできます。(☞ 24ページ “オンスクリーン”)

GUI画面の操作方法

1 再生中 / 停止中



押して

画面表示を切り換える
押すたびに切り換わります。

例) DVD の場合

< ディスク情報画面 > (☞ 19 ページ)



タイトル / チャプター / トラックを選んだり、音声 / 字幕 / アングルを切り換えたりできます。



< 本機情報画面 > (☞ 20 ページ)



好みの場所にマークをしたり、V.S.S.の効果を変えたり、セリフを聞き取りやすくしたりできます。



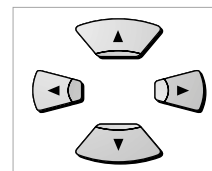
< シャトル画面 > (☞ 19 ページ)



早送り / 早戻しや、スロー再生ができます。



2

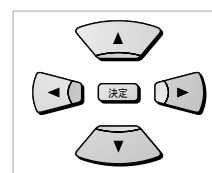


押して

項目を選ぶ

内容については 19、20 ページ
をご覧ください。

3



押して

内容を変更する

変更が実行されないときは、[決定]
または[▶](再生)を押してください。
シャトル画面の場合、手順3は不要です。
数字ボタンで変更できるものもあります。

ディスク情報画面の表示例

	タイトル番号 DVD / トラック番号 VCD CD 番号を選び[決定]を押すと、そのタイトル/トラックの再生開始
	チャプター番号 DVD 番号を選び[決定]を押すと、そのチャプターの再生開始
	経過時間 DVD : 数字ボタンで指定した時間から再生開始 例) 1 時間 6 分 37 秒から再生するとき [1] [0] [6] [3] [7] [決定]を押す
	時間表示モード VCD CD : 内容変更はできません。 再生中カーソルボタン[▲、▼]を押すたびに表示を変更する トラックの経過時間 ↔ トラックの残り時間 ↔ ディスクの残り時間
	音声番号 DVD : 番号を選ぶとその音声で再生 ● a : 番号に割りあてられた言語 (下記 a 「音声 / 字幕言語」) ● b : 番号に割りあてられた音声属性 (下記 b 「音声属性」)
	音声チャンネル VCD : チャンネルを選ぶとその音声で再生 LR ←————→ L ←————→ R (左右チャンネルの音声) (左チャンネルの音声) (右チャンネルの音声)
	字幕番号 / 字幕「入」「切」 DVD 番号を選ぶと、その言語で再生 / 字幕の「入」「切」の選択 ● a : 番号に割りあてられた言語 (下記 a 「音声 / 字幕言語」)
	アングル番号 DVD 番号を選ぶとそのアングルで再生
	メニュー再生の「入」「切」状態表示 (プレイバックコントロール機能付 VCD) : 内容変更はできません。

● a 音声 / 字幕言語

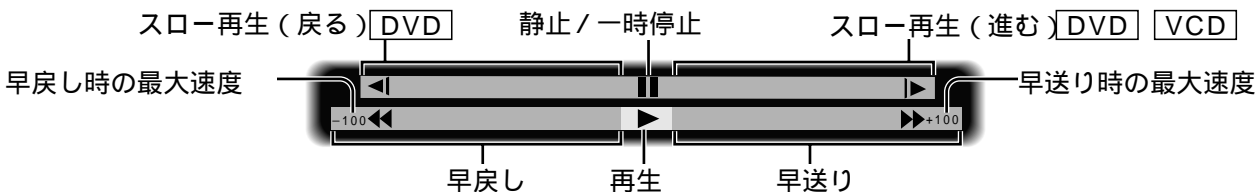
● b 音声属性

日 : 日本語	蘭 : オランダ語
英 : 英語	中 : 中国語
仏 : フランス語	露 : ロシア語
独 : ドイツ語	韓 : 韓国語
伊 : イタリア語	* : その他
西 : スペイン語	

LPCM / Digital / DTS : 信号タイプ
k : サンプリング周波数 b : ビット数 ch : チャンネル数
Vocal : カラオケディスクのボーカル表示
(カーソルボタン[▲、▼]で切り換えることができます。)
< ソロ > --- ↔ 入
< デュエット > --- ↔ V1 + V2 ↔ V1 ↔ V2

(カラオケディスクのボーカル表示以外は変更できません。)

シャトル画面の表示例



早送り / 早戻しの速度を変えても数値は変わりません。最大速度を表示しています。

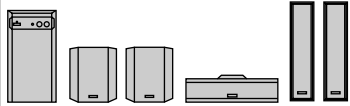
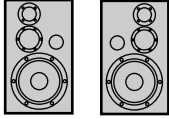
ディスクによっては、操作できないものもあります。

早送り / 早戻し、スロー再生の速度は 5 段階あり、カーソルボタン [◀、▶] を押すたびに速くなります。

より迫力ある音声で楽しむ

本機はドルビーデジタル / DTS デコーダーを内蔵しています。(☞32 ページ「デコーダー」)
別売のドルビーデジタルデコーダーや DTS デコーダーがなくても、AV アンプの 5.1ch 音声入力端子に接続すると、ドルビーデジタル / DTS で記録された DVD 再生時、映画館やホールにいるような臨場感と迫力ある音声をご家庭で楽しめます。高音質の 96 kHz で楽しみたいときは、アナログ接続してください。デジタル接続すると、著作権保護のため 48 kHz に変換しないと音声がありません。

くわしくは各ページをご参照ください。『 』内は機器に合わせて内容変更が必要な初期設定の項目です。

こんなときは	こんな方法があります	参照ページ	設定内容	参照ページ
5.1ch サラウンドサウンドを楽しむ 	<アナログ接続> AV アンプ (5.1ch 音声入力端子付) と接続する	22 A	『スピーカー設定』 “マルチチャンネル” に設定	28
	<デジタル接続> AV アンプ (デコーダー内蔵) と接続する	22 B	『デジタル出力』 PCM ダウンサンプリング変換 “する” に設定 Dolby Digital/DTS Digital Surround 接続する機器に合わせて設定	29
スピーカーの設定は、AV アンプまたはデコーダーで行ってください。				
2本のスピーカーでステレオサウンドを楽しむ 	<アナログ接続> アナログアンプ (ドルビープロロジックアンプを含む) やミニコンポと接続する	23 C	『スピーカー設定』 “2チャンネル” に設定	28
	<デジタル接続> デジタルアンプやミニコンポと接続する	23 D	『デジタル出力』 PCM ダウンサンプリング変換 “する” に設定 Dolby Digital/DTS Digital Surround “PCM” に設定	29

こんなこともできます

MD やカセットテープに録音する (☞23 ページ)

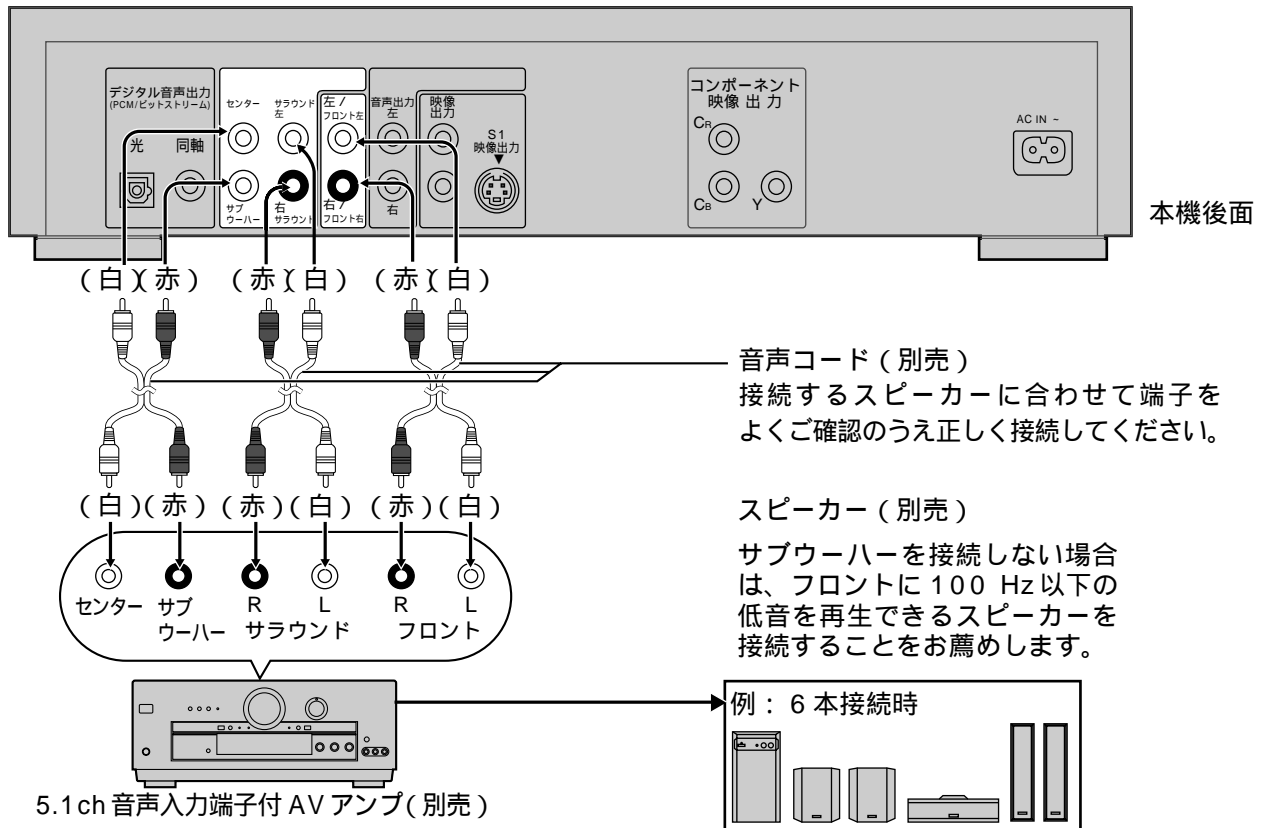
お知らせ

接続の前に、接続する機器と本機の電源を切り、それぞれの機器の説明書もご参照ください。別売品の品番については 30 ページをご参照ください。

より迫力ある音声で楽しむ（つづき）

A AV アンプ（5.1ch 音声入力端子付）との接続

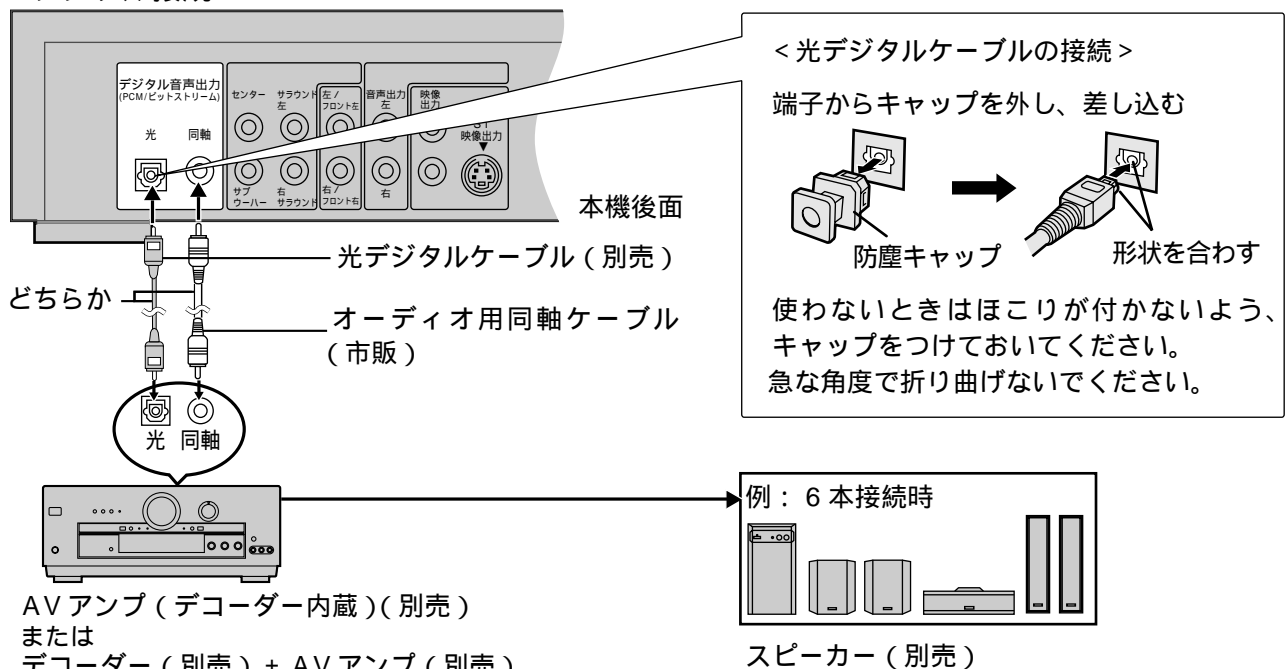
<アナログ接続>



V.S.S. / ヘッドホン V.S.S. (☞17 ページ) は“OFF” (切) にしてください。“1” (標準)、“2” (強) に設定すると、フロント (L / R) 以外のスピーカーから音が出ません。

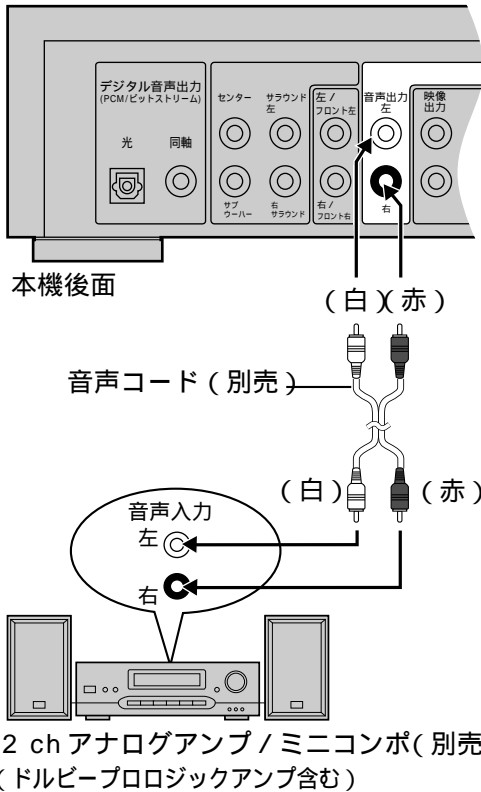
B デコーダー内蔵の AV アンプ（デコーダー + AV アンプ）との接続

<デジタル接続>



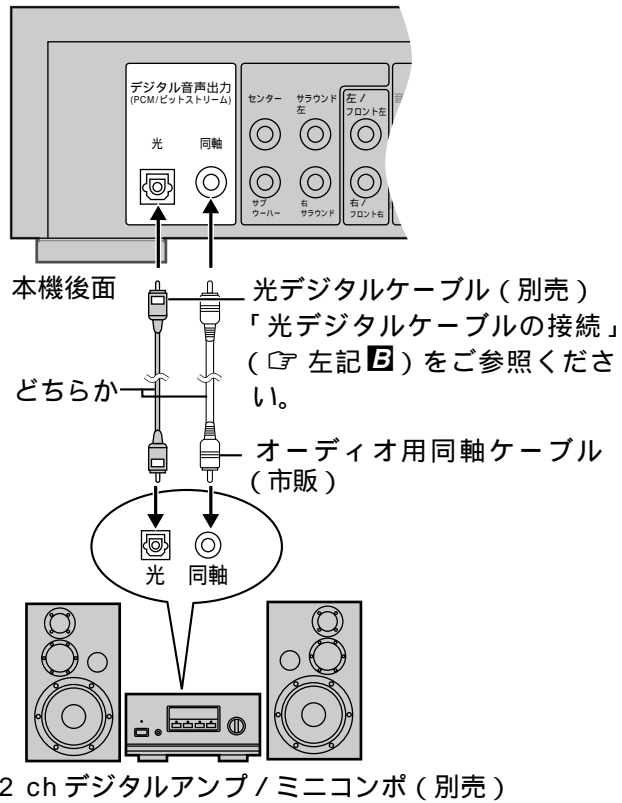
C アナログ音響機器との接続

<アナログ接続>



D デジタル音響機器との接続

<デジタル接続>



ドルビープロロジックのサラウンド効果を楽しむには（左記32ページ「ドルビープロロジック」）上記CもしくはDの接続例に加えて、センター、サラウンドのスピーカーが別途必要となります。接続した機器の説明書をご参照ください。また、この場合V.S.S./ヘッドホンV.S.S.（左記17ページ）は“OFF”（切）にしてください。“1”（標準）“2”（強）に設定するとサラウンド効果が正しく動きません。

こんなこともできます ~ MD やカセットテープに録音する ~

<アナログ録音をする>

アナログ録音では、アナログ信号に変換された音声を、コピーガードの影響を受けずにカセットテープやMDに録音できます。

Cの接続をする

スピーカーの設定は必要ありません。AVアンプなどを通さずに、直接、録音機器と接続したいときは、上記Cの接続方法をしてください。

Aの接続をした場合

スピーカーの設定を“2チャンネル”に設定してください。（左記28ページ）
“マルチチャンネル”に設定していると、フロント（L/R）の音声しか録音されません。

<デジタル録音をする>

デジタル録音では、デジタル信号のままMDなどに録音できます。ただし全ての信号がリニアPCM48kHz以下に変換されます。また、以下の条件が必要です。ディスクに著作権保護の処理がされていない。録音側の機器がサンプリング周波数48kHz/16bitに対応している。

B、もしくは**D**の接続をする

デジタル出力を以下のように設定してください。（左記29ページ）

“PCMダウンサンプリング変換”：“する”

“Dolby Digital/DTS Digital Surround”

：“PCM”



AVアンプなどを通さずに、直接、録音機器と接続したいときは、上記Dの接続方法をしてください。

初期設定を変更する

初期設定一覧表

設定方法については、26 ページをご覧ください。日本語のようにアミのかかった項目は、工場出荷時の設定です。

項目	選択肢		
ディスク言語	音声言語	● 日本語 ● 英語 ● オリジナル ¹ ● その他 ^{***} ³	
	字幕言語	● オート ² ● 日本語 ● 英語 ● その他 ^{***} ³	
	メニュー言語	● 日本語 ● 英語 ● その他 ^{***} ³	
視聴制限 (くわしくは 27 ページ)	8 すべて視聴可		
	7 ~ 0 すべて不可	● ロック解除 ● 暗証番号変更 ● レベル変更 ● 一時解除	
画面メニュー言語		● 日本語 ● English (英語)	
オンスクリーン	画面メッセージ	● 入 ● 切	
	色と位置	● 青色 ● 紫色 ● 緑色 ● 青色(やや下) ● 紫色(やや下) ● 緑色(やや下)	
FL ディマー	● 常時 明 ● 常時 暗 ● DVD/VCD 再生時 暗(オート) ⁵		
接続する TV (くわしくは 7 ページ)	● 4:3 ● 16:9	● 標準(ブラウン管テレビ) ● 3 管式プロジェクター ● 液晶プロジェクター ● プロジェクションテレビ	
デジタル出力 (くわしくは 29 ページ)	PCM ダウンサンプリング変換	● しない ● する	
	Dolby Digital	● Bitstream ● PCM	
	DTS Digital Surround	● PCM ● Bitstream	
スピーカー設定 (くわしくは 28 ページ)	マルチチャンネル	スピーカーの有無とサイズ	フロント(L/R)：あり(大)/あり(小) センター：あり(大)/あり(小)/なし サブウーハー：あり/なし サラウンド(L/R)：あり(大)/あり(小)/なし
		ディレイタイム	センター：0 / 1.3/2.6/3.9/5.3(ms) サラウンド：0 / 5.3/10.6/15.9(ms)
		チャンネルバランス	センター：0 / ±6(dB) サブウーハー：0 / ±6(dB) サラウンド(L)：0 / ±6(dB) サラウンド(R)：0 / ±6(dB)
	2 チャンネル		
エキスパート設定	スチルモード	● オート ● フィールド ● フレーム	
	早送り時の音声	● あり ● なし	
	TV モード (4:3)	● パン&スキャン ● レターボックス	
	音声のダイナミックレンジ圧縮	● 切 ● 入	
	I/P/B インジケーター	● しない ● する	

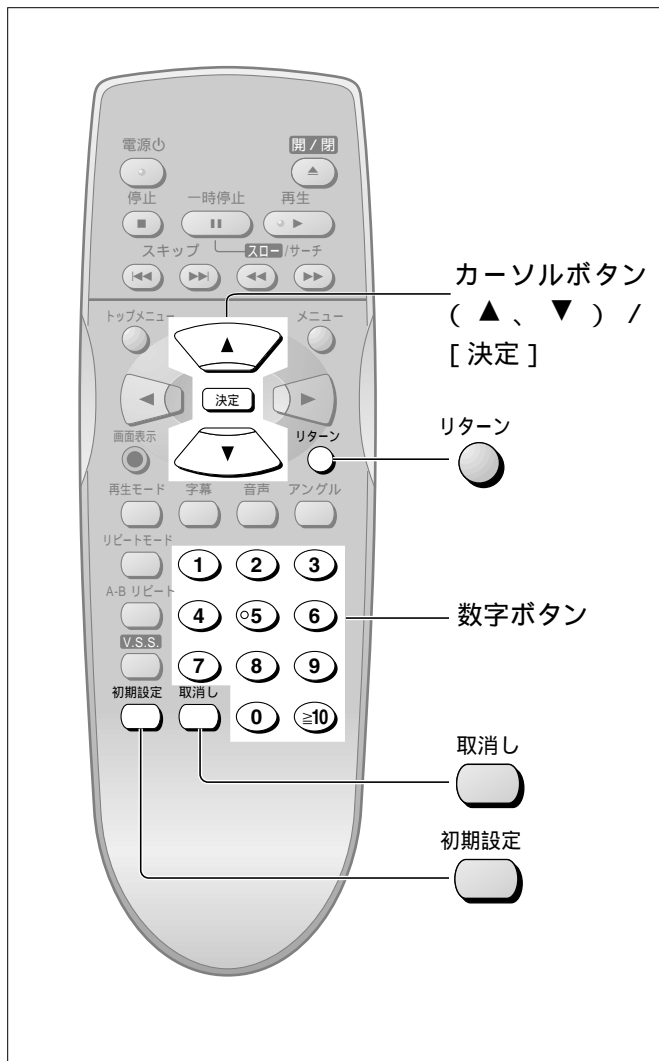
機能	お知らせ
言語（音声）が選べます。（DVD）	選んだ言語がディスクに記録されていない場合や、言語があらかじめディスク内で決められている場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。 ¹ ディスクの最優先言語です。 ² “音声言語” で選んだ言語で音声再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。 ³ その他の言語を選ぶときは、数字ボタンで言語番号（☞27 ページ）を入力し、[決定]を押してください。数字の入力を間違えたときは、[決定]を押さない限り[取消し]を押すと取り消せます。
言語（字幕）が選べます。（DVD）	
メニューなど、テレビ画面に表示される言語が選べます。	
DVDの視聴が制限できます。	
“再生”などの画面表示や初期設定画面の表示言語が選べます。	
“再生”などの画面表示をする/しないが選べます。	(通常的位置)  (やや下位置の場合) ⁴ 
“再生”などの画面表示や、GUI画面の色と画面上での位置が選べます。	⁴ やや下位置は、画面表示などの上端が欠けているときに選びます。
表示窓の明るさが変えられます。	⁵ DVDやビデオCDの再生時のみ暗くなり、早送り/早戻し中や静止(一時停止)中などでは、“常時明”と同じ明るさになります。
接続するテレビに合った画面サイズとテレビの種類が選べます。	
DVDの96 kHz 音声信号を、48 kHz/16 bit に変換する/しないが選べます。	
接続に応じて、ドルビーデジタルの信号をそのままの状態(Bitstream)で出力するか、デコーダーを通さなくても聞ける状態(PCM 2ch)に処理して出力するかが選べます。	
上記のドルビーデジタルと同様の選択を、DTS信号に対して行えます。	
接続したスピーカーのうち、どのスピーカーから音声を出力するかを設定します。また、接続したスピーカーの特性に合った音声出力方法が設定できます。	スピーカーを3本以上接続するときは、マルチチャンネルに設定し、接続や設定状態に合わせて各種設定を行います。 スピーカーを2本接続するときや、ドルビープロロジックデコーダーに接続するときは、2チャンネルに設定します。
遅延時間を設定することで、音の臨場感が調整できます。	
音量のバランスが調整できます。	
静止画像の表示方法が選べます。	「フレーム/フィールド」☞32 ページ
早送り1速時に、音声を出力したり、消したりできます。(DVD、ビデオCDのみ)	CDの場合、早送り/早戻し時は常に音が出ます。 DTS CDの場合、早送り/早戻し時は常に音が出ません。
標準サイズ(4:3)のテレビで、ワイドサイズのソフトを再生するときの画面表示方法が選べます。	「画面に映し出される映像の横縦比」☞30 ページ
ダイナミックレンジ(☞32 ページ)圧縮の入/切が選べます。	“入”にすると、音量を小さくしたときでも小声のセリフが聞き取りやすくなります。
静止時に画面の種類(I/P/B)を表示する/しないを選べます。	「I/P/B」☞32 ページ

初期設定を変更する（つづき）

お知らせ

24、25 ページの一覧表をご覧になり、必要であれば右の操作で変更してください。

電源を切っても次に変更するまで保持されます。



設定方法

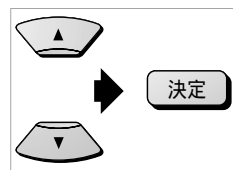
1 停止中



押して
初期設定画面を表示する



2



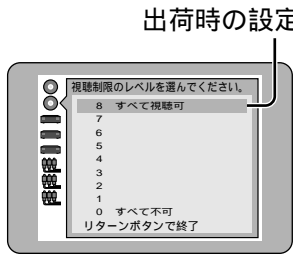
押して
項目 / 内容を選ぶ
必要なだけ繰り返してください。
数字ボタンでも選べます。
操作によって異なる画面が出る
ことがあります。そのときは画面の指示に従ってください

■ ひとつ前の画面に戻るには
[リターン]を押す

■ 設定を終了するときは
[初期設定]を押す

視聴制限（設定方法 左記）

お子さまなどに見せたくない成人向けのDVDがそのまま再生されないようにできます。暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。



出荷時の設定

- レベル 8 : すべてのディスクが再生可
- レベル 7 ~ 1 : 制限レベルの記録されているディスク（成人向けや暴力シーンを含むもの）が再生不可
- レベル 0 : すべてのディスクが再生不可

レベル 7 以下を選んだときは数字ボタンで暗証番号（4 ケタ）を入力し、[決定]を押してください。（ロックがかかります。）

間違った数字を入力してしまったときは、[決定]を押さない限り[取消し]を押すと取り消せます。



レベル 7 ~ 0 のとき

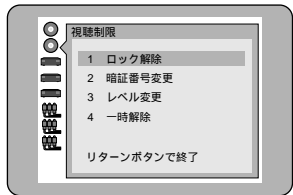


お願い

制限レベルが記録されていないディスクを制限したいときは“0 すべて不可”を選んでください。

ロックすると正しい暗証番号を入力しない限り、設定内容を変更できません。暗証番号は忘れないでください。

操作によって異なる画面が出るがありますが、そのときは画面の指示に従ってください。



■ 制限内容を変更するには（レベル 7 ~ 0 のとき）

まず数字ボタンで暗証番号（4 ケタ）を入力し、[決定]を押してください。

- 1 ロック解除 : 制限を解除してレベル 8 に戻す
- 2 暗証番号変更 : 暗証番号を変更する
- 3 レベル変更 : 制限レベルを変更する
- 4 一時解除 : 一時的に制限を解除する

“4 一時解除”を選ぶと、電源を切るかトレイを開けるまでレベル 8 の状態が続きます。

言語番号一覧表

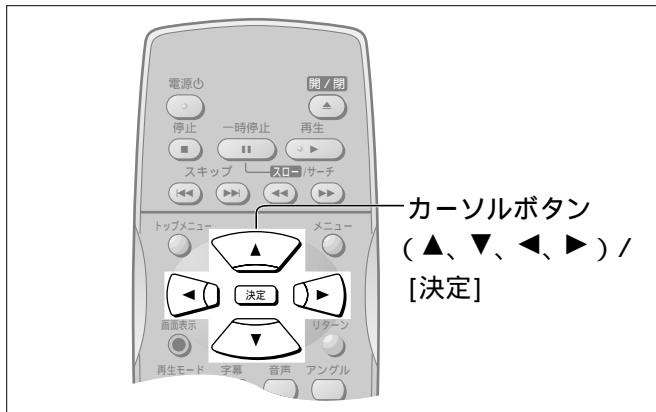
アイスランド : 7383	オランダ : 7876	ジャワ : 7487	ドイツ : 6869	ベンガル(バングラ) : 6678
アイマラ : 6588	カザフ : 7575	スウェーデン : 8386	ナウル : 7865	ベルシャ : 7065
アイルランド : 7165	カシミール : 7583	スロバキア : 8375	日本語 : 7465	ポーランド : 8076
アゼルバイジャン : 6590	カタロニア : 6765	スロベニア : 8376	ネパール : 7869	ポルトガル : 8084
アッサム : 6583	ガリチア : 7176	スワヒリ : 8387	ノルウェー : 7879	マオリ : 7773
アフアル : 6565	韓国(朝鮮)語 : 7579	スンダ : 8385	ハウサ : 7265	マケドニア : 7775
アフリカーンス : 6570	カナダ : 7578	スペイン : 6983	ハンガリー : 7285	マライ(マレー) : 7783
アプハジア : 6566	カンボジア : 7577	ズールー : 9085	バシキール : 6665	マラッタ : 7782
アムハラ : 6577	キルギス : 7589	セルビア : 8382	バスク : 6985	マラーヤラム : 7776
アラビア : 6582	ギリシャ : 6976	セルボクロアチア : 8372	バシウト : 8083	マルタ : 7784
アルバニア : 8381	クルド : 7585	ソマリ : 8379	パンジャブ : 8065	マダガスカル : 7771
アルメニア : 7289	クロアチア : 7282	タイ : 8472	ヒンディー : 7273	モルダビア : 7779
イタリア : 7384	グアラニー : 7178	タタール : 8484	ビハール : 6672	モンゴル : 7778
イディッシュ : 7473	グジャラト : 7185	タミル : 8465	ビルマ : 7789	ヨルバ : 8979
インターリングア : 7365	グリーンランド : 7576	タガログ : 8476	フィジー : 7074	ラオ : 7679
インドネシア : 7378	グルジア : 7565	タジク : 8471	フィンランド : 7073	ラテン : 7665
ウェールズ : 6789	ケチュア : 8185	チェコ : 6783	フェロー : 7079	ラトビア(レット) : 7686
ウォロフ : 8779	ゲール(スコットランド) : 7168	中国語 : 9072	フランス : 7082	リトアニア : 7684
ヴォラビュック : 8679	: 7168	チベット : 6679	フリジア : 7089	リンガラ : 7678
ウクライナ : 8575	コーサ : 8872	ティグリニア : 8473	ブータン : 6890	ルーマニア : 8279
ウズベク : 8590	コルシカ : 6779	テルグ : 8469	ブルガリア : 6671	レトロマンズ : 8277
ウルドゥー : 8582	サモア : 8377	デンマーク : 6865	ブルターニュ : 6682	ロシア : 8285
英語 : 6978	サンスクリット : 8365	トウイ : 8487	ヘブライ : 7387	
エストニア : 6984	ショナ : 8378	トルクメン : 8475	ベトナム : 8673	
エスペラント : 6979	シンド : 8368	トルコ : 8482	ペロルシア(白ロシア) : 6669	
オーリヤ : 7982	シンハラ : 8373	トンガ : 8479		

初期設定を変更する（つづき）

スピーカーの設定（設定方法 26 ページ）

準備

本機および接続した機器の電源を入れる。



カーソルボタン
(▲、▼、◀、▶) /
[決定]

設定内容

カーソルボタン[▲、▼]で“2チャンネル”か“マルチチャンネル”を選び、[決定]を押してください。

2チャンネル：スピーカーを2本接続するときやドルビープロロジックデコーダーを接続するとき

初期設定画面に戻ります。（スピーカー設定は終了です。）

マルチチャンネル：スピーカーを3本以上接続するとき
下図の画面が表示されます。

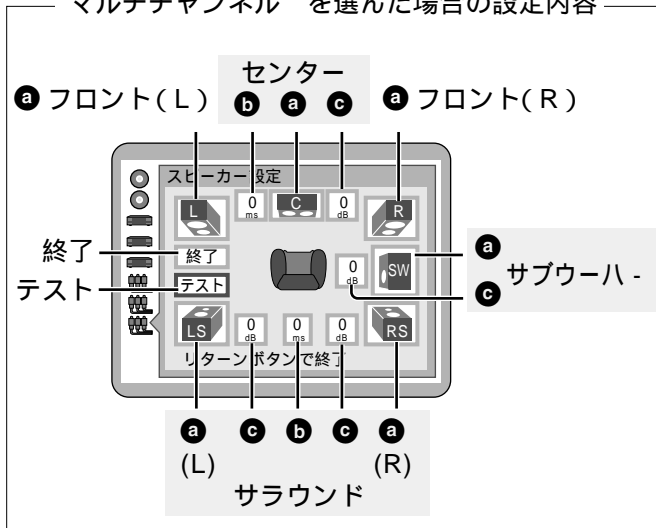
以下の手順で項目 **a** **b** **c** を設定してください。

1 カーソルボタン [▲、▼、◀、▶] で項目 **a** **b** **c** を選び[決定]を押す

2 カーソルボタン [▲、▼] で内容を変更し、[決定]を押す
必要なだけ手順1、2を繰り返してください。

3 “終了”を選び[決定]を押す
（初期設定画面に戻ります。）

“マルチチャンネル”を選んだ場合の設定内容



お知らせ

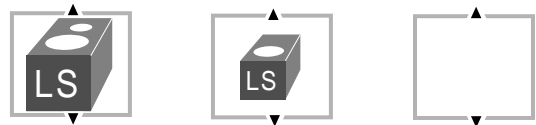
デジタル接続しているときは、接続した機器側で設定してください。

a スピーカーの有無とサイズ

- フロント (L / R) : あり (大) / あり (小)
- センター : あり (大) / あり (小) / なし
- サブウーハー : あり / なし
- サラウンド (L / R) : あり (大) / あり (小) / なし

サラウンド (L) の場合の表示例

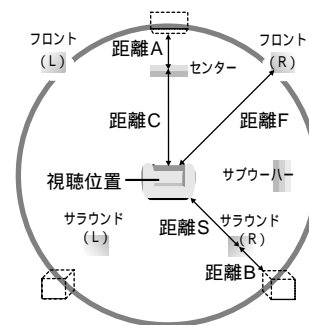
あり (大) あり (小) なし



サブウーハーを接続していない場合は、フロント (L / R) の設定を“あり (大)”にしてください。大、小は100 Hz以下の低音を再生できる場合 (大) できない場合 (小) を目安にしてください。

b ディレイタイム

(ドルビーデジタルで記録されたDVDのセンター / サラウンドチャンネルのみ)



すべてのスピーカーは上記のような円上に置くのが理想的です。置けない場合は、ディレイタイムの設定をすると音声出力に遅延効果を与え仮想的に理想の視聴位置を実現します。

<センター>

距離 A = 距離 F - 距離 C

<サラウンド>

距離 B = 距離 F - 距離 S

距離 A	設定値
約 50 cm	1.3 ms
約 100 cm	2.6 ms
約 150 cm	3.9 ms
約 200 cm	5.3 ms

距離 B	設定値
約 200 cm	5.3 ms
約 400 cm	10.6 ms
約 600 cm	15.9 ms

c 出力バランス

1 “テスト”を選び[決定]を押す

「ザ - 」というテスト音がフロントスピーカー (L) から時計周りに出力されます。フロントと同じ音量で聞こえるように、各スピーカーの音量をカーソルボタン [▲、▼] で調節してください。

2 [決定]を押す (音が止まります。)

サブウーハーからはテストの音が出力されません。ディスクを再生し、音量を確認してから調節してください。

デジタル出力の設定（設定方法 26 ページ）

設定内容

< PCM ダウンサンプリング変換 >

しない：音声コードでアナログ接続したとき
 する：光デジタルケーブルまたはオーディオ用同軸ケーブルでデジタル接続したとき。
 著作権保護のため、出力は 48 kHz / 16 bit 以下に制限されます。

～ 96 kHz で記録された DVD を再生するときは～接続方法（22、23 ページ）と PCM ダウンサンプリング変換の設定により、以下のような音声が出力されます。

接続例 設定	A、C	B、D
しない	96 kHz で出力	出力しない (著作権保護の処理がされていないディスクの場合は 96 kHz で出力)
する	48 kHz に変換され出力	48 kHz / 16 bit に変換され出力

ただし 96 kHz の高音質でディスクを楽しむには、接続先の機器がサンプリング周波数 96 kHz に対応していることが必要です。

「デジタル出力」の推奨設定

接続する機器側のデコーダーに合わせて以下のように設定してください。（ ：出荷時の設定）

接続例	「デジタル出力」の設定		
	PCM ダウンサンプリング変換	Dolby Digital	DTS Digital Surround
A 22 ページ、C 23 ページ	しない	Bitstream	PCM
D 23 ページ	する	PCM	PCM
Dolby Digital デコーダー B 22 ページ	する	Bitstream	PCM
DTS Digital Surround デコーダー B 22 ページ	する	PCM	Bitstream
Dolby Digital / DTS Digital Surround デコーダー B 22 ページ	する	Bitstream	Bitstream

< Dolby Digital >

Bitstream：ドルビーデジタルデコーダーを内蔵する機器と接続するとき

PCM：ドルビーデジタルデコーダーを内蔵しない機器と接続するとき

< DTS Digital Surround >

PCM：DTS デコーダーを内蔵しない機器と接続するとき

Bitstream：DTS デコーダーを内蔵する機器と接続するとき

お願い

デコーダーを持たない機器に接続する場合、必ず“Dolby Digital”と“DTS Digital Surround”は“PCM”に設定してください。

正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MDなどに正しく録音できません。

画面に映し出される映像の横縦比

テレビに映し出される映像は、ディスクやテレビによって以下のように異なります。ソフトのジャケットやテレビの説明書もご参照ください。

は、ディスクのジャケットに表示されているマークです。

ディスク \ テレビ (画面モード)	標準サイズ	ワイドサイズ (フルモード)	ワイドサイズ (ズームモード)	ワイドサイズ (オートモード)
ワイド (パン&スキャン指定) 16:9 PS 	左右が切れる 	フル画面 	上下が切れる 	フル画面 
ワイド (レターボックス指定) 16:9 LB 	上下に黒帯が出る 			
4:3 4:3 	フル画面 	左右に伸びる 	上下が切れる 	フル画面 (左右に黒帯) 
4:3 [レターボックス (上下に黒帯)] LB 	上下に黒帯が出る 	左右に伸びる (上下に黒帯) 	フル画面 	両端が左右に伸びる (上下に黒帯) 

別売品のご紹介

別売品の品番は、2000年9月現在のものです。品番は変更されることがあります。

コード/ケーブル名	品番
S映像コード	RP-CVS0G10 (1.0 m)
	RP-CVS0G20 (2.0 m)
	RP-CVS0G30 (3.0 m)
	RP-CVS0G50 (5.0 m)
コンポーネントビデオコード	RP-CVPCG10 (1.0 m)
	RP-CVPCG20 (2.0 m)
	RP-CVPCG50 (5.0 m)
D端子ピンケーブル	RP-CVCDG15 (1.5 m)
	RP-CVCDG30 (3.0 m)
音声コード	RP-CAP3G05 (0.5 m)
	RP-CAP3G10 (1.0 m)
	RP-CAP3G15 (1.5 m)
	RP-CAP3G20 (2.0 m)
	RP-CAP3G30 (3.0 m)
	RP-CAP3G50 (5.0 m)
	RP-CAP3G100 (10.0 m)
光デジタルケーブル	RP-CA2005A (0.5 m)
	RP-CA2010A (1.0 m)
	RP-CA2020A (2.0 m)
	RP-CA2030A (3.0 m)

機器名	品番
AVアンプ (AVコントロールアンプ)	SU-DA10
フロントスピーカー (L/R、左右一組)	SB-LV500
センタースピーカー	SB-C500
サラウンドスピーカー (L/R、左右一組)	SB-S500
サブウーハー	SB-AS30

5.1ch 音声入力端子と Dolby Digital / DTS Digital Surround デコーダーを装備しています。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です

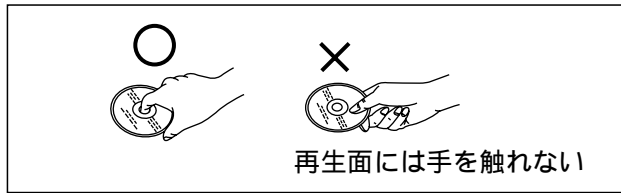


音のエチケット
シンボルマーク

使用上のお願い・お手入れ

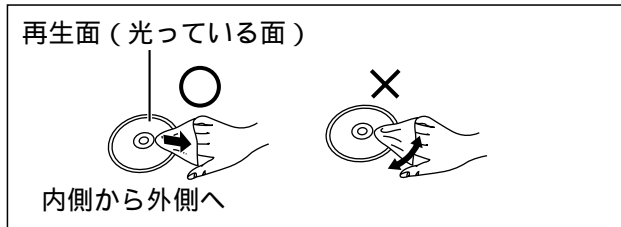
ディスクについて

■ 持ちかた



■ 汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。



■ 露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

■ 取扱上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをご守りください。

鉛筆やボールペンなどで字を書かない。

レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。

傷つき防止用のプロテクターなど当社指定以外の市販品は使わない。

紙やシール、ラベルを貼らない。

シールやラベルがはがれかけたり、のりがはみ出しているディスクは使わない。

市販のラベルプリンターで表面に印刷したディスクは使わない。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利権者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。

この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

ディスクの保管

次のような場所は避けてください。
直射日光の当たるところ
湿気やほこりの多いところ
暖房器具の熱が直接当たるところ

お手入れ

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。
アルコールやシンナーは使わないでください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

お知らせ

使用環境により異なりますがレンズのクリーニングは必要ありません。
誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

ご参考

使用上のお願い・お手入れ / 著作権について

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

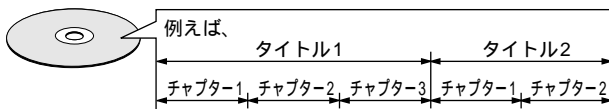
非公開機密著作物。著作権 1992 - 1997 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

この製品は米国 DTS 社からの実施権に基づき製造されています。「DTS」および「DTS デジタルサラウンド」は DTS 社の商標です。著作権 1996 年 DTS 社。不許複製。

用語解説

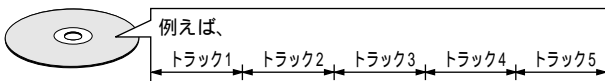
タイトル、チャプター (DVD)

DVD は、いくつかの大きな区切り (タイトル) と小さな区切り (チャプター) に分けられており、それぞれの区切りの番号を、タイトル番号、チャプター番号と呼びます。



トラック (ビデオ CD/CD)

ビデオ CD や CD は、いくつかの区切り (トラック) に分けられており、これらの区切りの番号をトラック番号と呼びます。



プレイバックコントロール

ビデオ CD の再生方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。本書ではメニュー画面を使って再生することを、ビデオ CD の「メニュー再生」と呼びます。

チャンネル (ch)

出力される音域や特性によって区別された音声の種類です。

例) 5.1 チャンネル

フロントスピーカー [L (1ch) / R (1ch)]

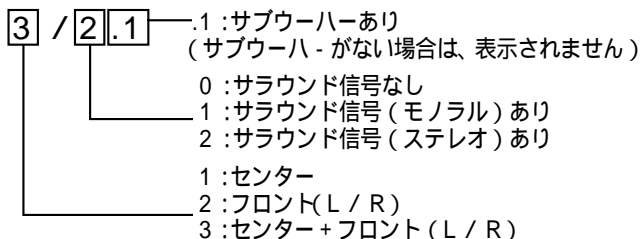
センタースピーカー (1ch)

サラウンドスピーカー [L (1ch) / R (1ch)]

サブウーハー [1ch x 0.1 = 0.1ch]

出力される音声全体に対して低音が占める割合

GUI 画面では以下のように示されます。



リニア PCM (LPCM)

圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。DVD は容量が大きいので、CD 以上の精度でデータを収録することができます。

本機では、デジタル音声出力端子からのリニア PCM 音声は 2ch で出力されます。

光デジタル音声出力端子

電気信号を光信号に変えてアンプに伝えるので、外部からの電氣的な影響による雑音を防ぐことができます。

デコーダー

DVD など符号化して記録した音声データを、通常の音声信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ (2ch) はもちろん、最大 5.1ch のサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

ドルビープロロジック

4 チャンネル信号を 2 チャンネルに記録し、演算処理により、再び 4 チャンネルの独立した信号を再生するサラウンドシステムです。

デジタルシアターシステム DTS (Digital Theater Systems)

多くの映画館で採用されている最大 5.1ch のサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く情報量も多いので、リアルな音響効果が得られます。

ビットストリーム Bitstream

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。デコーダーによって 5.1ch などのマルチチャンネル音声にデコード (復号) されます。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

I / P / B

DVD では、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは各画面ごとに記録しています。

I-picture : 共用データの基準として単独で記録されるフレーム

P-picture : 過去の I-picture、または P-picture を元につくられるフレーム

B-picture : I / P 両方を元につくられ、両者の間をうめるフレーム

I-picture の画質がもっとも良く、画質調整をするときは、I-picture で静止することをお勧めします。

フレーム / フィールド

フレームとは、テレビの 1 枚の画面のことです。1 フレームはフィールドと呼ばれる 2 枚の画面からなっています。

フレーム フィールド フィールド



Q & A (よくあるご質問)

	Q (質問)	A (回答)	参照 ページ
接続 / 設置について	ドルビーデジタルやDTSの5.1chサラウンド音声を楽しみたいが、どのような機器が必要か	本機にはドルビーデジタル / DTS デコーダーが内蔵されていますので、AV アンプ (5.1ch 音声入力端子付) と 6 本のスピーカーを準備すれば、デコーダーを接続しなくても 5.1ch サラウンド音声がお楽しみになれます。	22
	スピーカーを直接つなげるか	本機には直接接続できません。AV アンプなどを通して接続してください。	22、 23
	ハイビジョンテレビに接続できるのか	接続できます。より良い映像のために、DVD 対応のコンポーネントビデオ入力端子に接続することをお勧めします。ハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ入力端子には接続しないでください。	6
	S 映像入力端子とコンポーネントビデオ入力端子の両方があるテレビの場合、どちらに接続したらいいのか	コンポーネントビデオ入力端子に接続すると、DVD に記録されたままの状態 で信号を出力するため、S 映像入力端子に接続した場合より、さらに忠実に色を再現します。より良い映像のためにはコンポーネントビデオ入力端子に接続することをお勧めします。	6
	D 映像入力端子とコンポーネントビデオ入力端子では、どちらが良いのか	DVD の再生という点では両者の性能に差はありません。他の機器との接続状況から、都合のいい方の端子をお使いください。	6
	LD と接続できるか	本機には接続できません。	—
	引っ越しても使えるか	東日本、西日本に関係なく使えます。	—
	海外でも使えるか	本機は日本国内専用です。海外では電源電圧などが異なるため使用できません。	—
使いかたについて	海外で買った DVD は再生できるか	リージョン番号が「ALL」もしくは「2」を含んでいて、映像方式が NTSC であれば再生できます。ディスクのジャケットをご確認ください。	2
	海外で買ったビデオ CD は再生できるか	映像方式が NTSC であれば再生できます。	—
	リージョン番号がないディスクは再生できるか	DVD のリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。規格を満たしていない DVD は再生できません。	—
	CD-R や CD-G は再生できるか	再生できません。ディスクを再生する前に、本機で再生できるディスクかどうか確認してください。	2
	ビデオで録画できるか	ほとんどの DVD はコピー禁止処理がされており、録画できません。	—

ご参考

Q & A (よくあるご質問)

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ	
電源について	電源が入らない	電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。	6
	勝手に電源が切れる	停止状態で約30分経過すると、節電のため、電源が自動的にスタンバイ状態になります。(オートパワーオフ) 再度電源を入れ直してください。	—
操作について	各ボタン操作ができない	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。	—
		落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。電源を一度、「切」「入」してください。	—
	リモコンが働かない	乾電池は、⊕⊖を確かめて正しく入れ、消耗している場合は、新しいものに交換してください。	5
		リモコン受信部に向けて正しく操作してください。	5
	[▶](再生)を押しても、再生が始まらない (または、すぐに停止する)	寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部に露が付くことがあります。1~2時間放置してください。	—
		本機で再生できるディスクかどうか確認してください。	2
		ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。	31
		ディスクを正しくセットしてください。	8
	音声/字幕言語が切り換えられない	初期設定“視聴制限”の設定を確認してください。	27
		複数の言語が入っていないディスクでは切り換えできません。	—
	字幕が出ない	音声/字幕切り換え操作では切り換えできないディスクでも、メニュー画面等で切り換えできる場合があります。	—
		字幕の入っていないDVDでは字幕が表示されません。	—
字幕が“切”になっている場合は、字幕を“入”にしてください。	字幕が“切”になっている場合は、字幕を“入”にしてください。	15	
	A-Bリピート再生のA点、B点や、マーカーでマークを付けた箇所前後では、字幕が表示されないことがあります。	—	
アングルを変えて見ることができない	複数のアングルが記録されている場面(表示窓に“ANGLE”が点灯)でのみ切り換えることができます。	—	
視聴制限で設定した暗証番号を忘れた	以下の操作で初期設定の内容を工場出荷時に戻してください。	—	
すべての設定を、工場出荷時に戻したい	1 停止中、本体の[PAUSE]と[PAUSE]を押しながら、テレビ画面の“オールクリア”が消えるまで[OPEN/CLOSE]を押す 2 本体の電源を一度「切」「入」する	—	
カラオケ操作について	ボーカルが「切」にならない	ボーカルが記録されている音声チャンネルが選ばれています。ディスクのジャケットを確認して、適切な音声チャンネルを選んでください。	16
	DVDカラオケ再生中にボーカルが出ない	他の機器とデジタル接続しているときは、初期設定“デジタル出力”で、“Dolby Digital”を“PCM”に設定してください。	29
	カラオケソフトの再生中、1曲終わるたびにメニュー画面に戻る	カラオケソフトの大半は、選んだ曲が終わるとメニュー画面に戻るよう制作されています。メニュー画面に「全曲再生」という項目がある場合、その項目を選ぶと、全曲が再生されます。	—

こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ	
音声について	音声が出ない	接続した機器の音量を確認してください。	—
		接続、設定を確認してください。	6、22、23 28、29
		接続した機器の入力切り換えは正しいですか？	—
		アナログ接続で3本以上のスピーカーをつないでいるときは、V.S.S./ヘッドホンV.S.Sを“OFF”(切)にしてください。	17
	耳を刺激するような音が出る	他の機器とデジタル接続しているときは、初期設定“デジタル出力”で、接続した機器に応じて“Dolby Digital”や“DTS Digital Surround”を正しく設定してください。	29
映像について	早送り/早戻しをしたら画像が乱れる	多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。	—
	テレビに映像が映らない(または画面サイズがおかしい)	接続を確認してください。	6
		テレビの電源は入っていますか？	—
		テレビの入力切換は正しいですか？	—
		初期設定“接続するTV”の項目は正しく設定されていますか？	7
	テレビ側の画面モードを変更してください。	30	
表示について	表示窓に“NO PLAY”と表示する	再生できないディスクが入っています。	2
		初期設定“視聴制限”で再生を制限されているディスクが入っています。	27
	画面メッセージが出ない	初期設定“オンスクリーン”の“画面メッセージ”を“入”にしてください。	24
	GUI画面が欠ける(または表示されない)	初期設定“オンスクリーン”の“色と位置”でGUI画面の位置を変更してください。	24
	画面に“ディスクを確認してください”と表示する	ディスクがよごれています。	31
	表示窓に“H ”と表示する(H は数字)	異常が発生しました。(“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります。)電源を一度、「切」「入」してください。	—
	表示窓に“NO DISC”と表示する	ディスクが入っていません。	—
ディスクが正しく入っていません。		—	

処置をされても表示が消えないときは

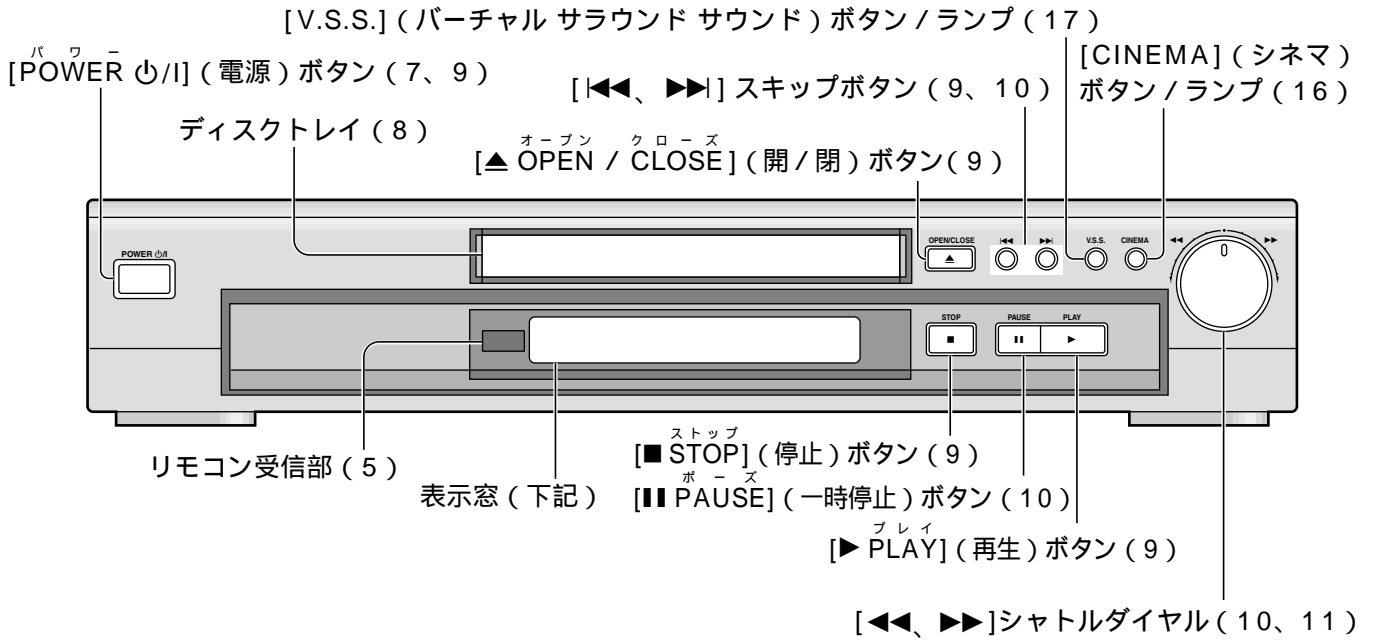
お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(P.39ページ)に修理をご依頼ください。その場合、画面や表示窓の文字をお知らせください。(例：“H01”の場合「H01」)

ご参考

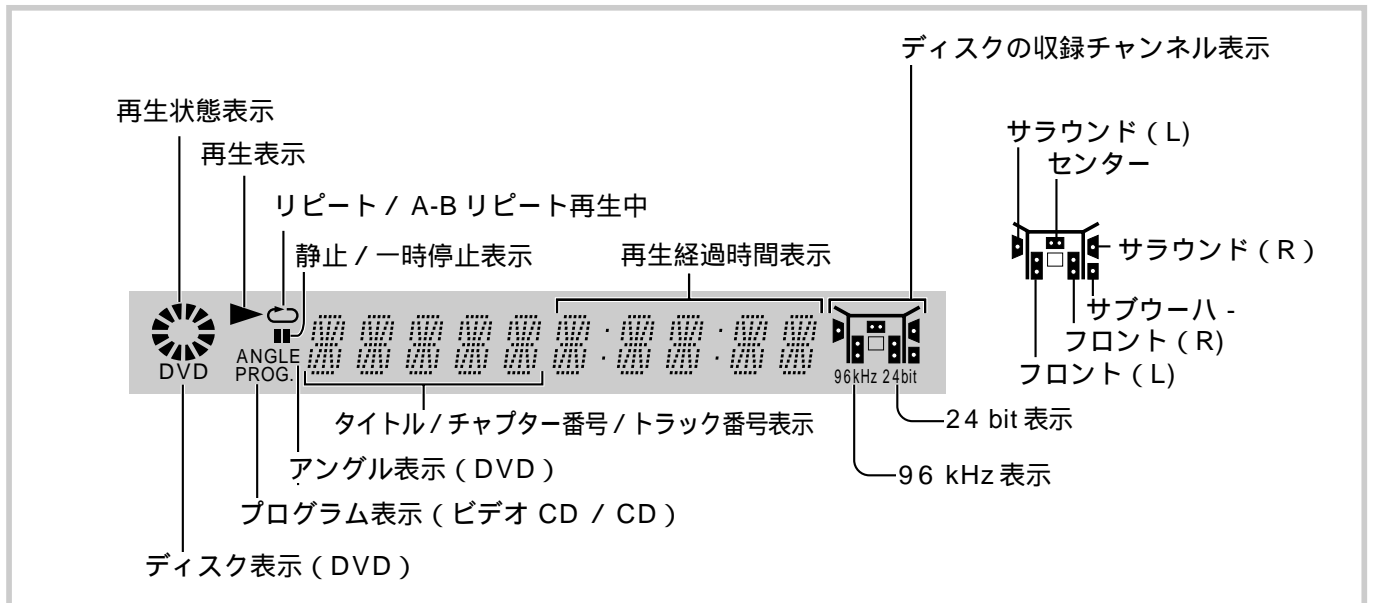
各部のなまえ

() 内は参照ページを表しています。

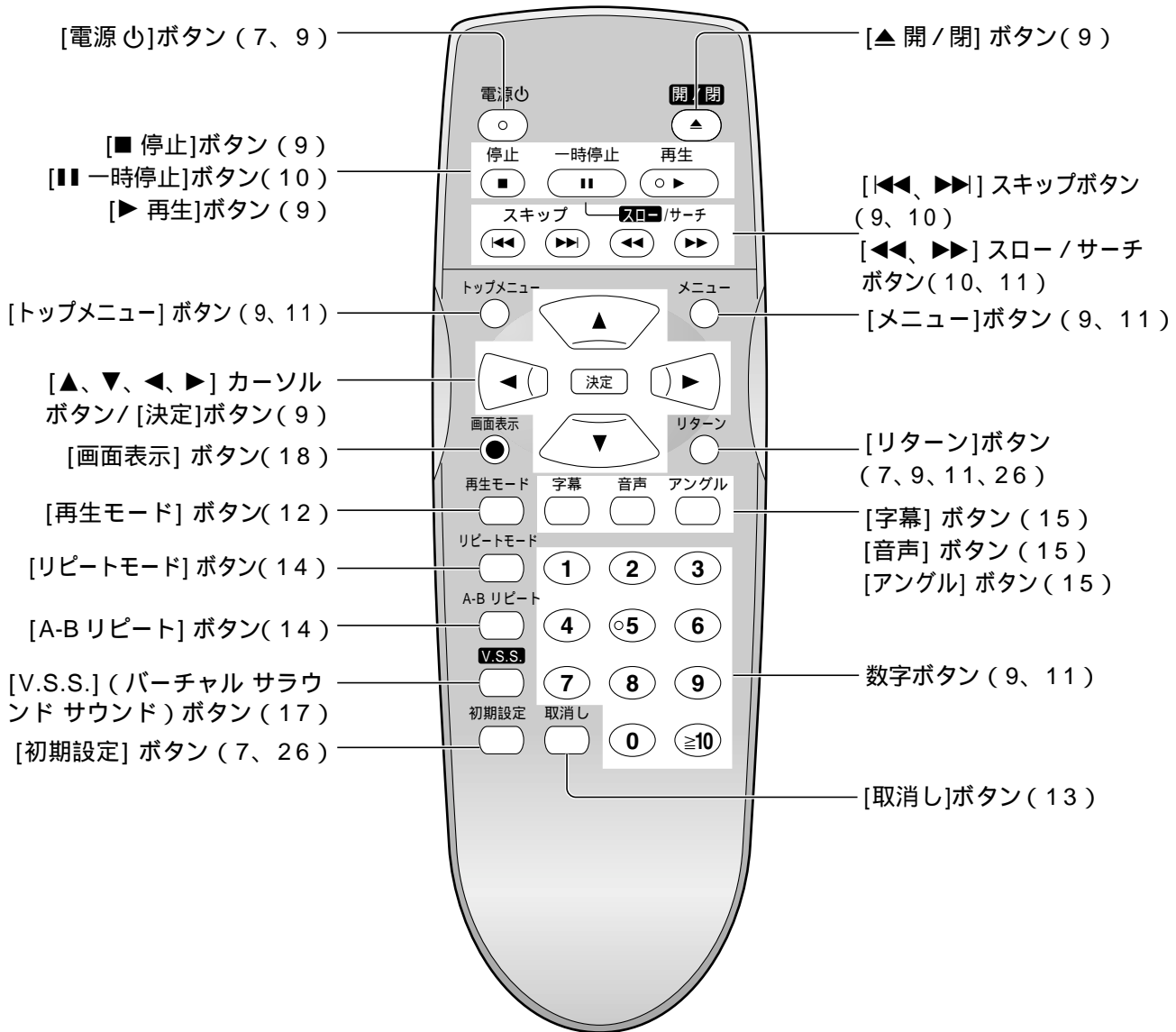
本体



表示窓



リモコン



ご参考

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は...
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は...

修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

修理を依頼される時

34 ~ 35 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、DVD/ビデオ CD/CD プレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

本機は一般家庭用として作られています。

一般家庭用以外での使用 (例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など) により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただきますことがあります。

ナショナル / パナソニック

お客様ご相談センター

使いかた・
お買い物の
ご相談は

フリーダイヤル
(料金無料)



パナは 365日

0120-878-365

365日 / 受付9時 ~ 20時

Help desk for foreign residents in Japan

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

Tokyo (03) 3256 - 5444

Osaka (06) 6645 - 8787



ナショナル/パナソニック

修理ご相談窓口

修理の
ご相談は

ナビダイヤル
(全国共通番号)

☎ 0570-087-087



お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口へ直接おかけください。
(ナビダイヤルはご利用頂けません)

北海道地区		近畿地区	
札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251	帯広 帯広市西19条南1丁目7-11 ☎ (0155)33-8477	滋賀 守山市勝部6丁目2-1 ☎ (077)582-5021	奈良 大和郡山市椎木町404-2 ☎ (0743)59-2770
旭川 旭川市2条通21丁目左1号 ☎ (0166)31-6151	函館 函館市西桔梗589番地241(函館流通卸センター内) ☎ (0138)48-6631	京都 京都市南区上鳥羽石橋町20-1 ☎ (075)672-9636	和歌山 和歌山市中島499-1 ☎ (073)475-1311
		大阪 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎ (06)6359-6225	兵庫 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎ (078)272-6645
東北地区		中国地区	
青森 青森市大字八ッ役字矢作1-37 ☎ (017)739-9712	宮城 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎ (022)387-1117	鳥取 鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695	岡山 岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎ (086)292-1162
秋田 秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎ (018)826-1600	山形 山形市流通センター3丁目12-2 ☎ (023)641-8100	米子 米子市米原4丁目2-33 ☎ (0859)34-2129	広島 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎ (082)295-5011
岩手 盛岡市羽場13地割30-3 ☎ (019)639-5120	福島 福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎ (0243)34-1301	松江 松江市西津田2丁目10-19 ☎ (0852)23-1128	山口 山口市鑄銭司字鑄銭司団地北447-23 ☎ (0839)86-4050
		出雲 出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133	
		浜田 浜田市下府町327-93 ☎ (0855)22-6629	
首都圏地区		四国地区	
栃木 宇都宮市御幸町194-20 ☎ (028)689-2555	千葉 千葉市中央区星久喜町172 ☎ (043)208-6034	香川 高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-9477	高知 南国市岡豊町中島331-1 ☎ (088)866-3142
群馬 高崎市萩原町沖中205-18 ☎ (027)352-1109	東京 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎ (03)5450-7431	徳島 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎ (088)698-1125	愛媛 松山市土居田町750-2 ☎ (089)971-2144
水戸 水戸市柳町309-2 ☎ (029)225-0249	山梨 甲府市下飯田2丁目1-27 ☎ (0552)22-5171		
つくば つくば市花畑2丁目8-1 ☎ (0298)64-8756	神奈川 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎ (045)840-3155		
埼玉 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎ (048)729-2102	新潟 新潟市東明1丁目8-14 ☎ (025)286-7725		
中部地区		九州地区	
石川 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎ (076)294-2683	名古屋 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎ (052)819-0225	福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎ (092)593-9036	熊本 熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067
富山 富山市寺島1298 ☎ (076)432-8705	岡崎 岡崎市岡町南久保28 ☎ (0564)55-5719	佐賀 佐賀市本庄町大字本庄896-2 ☎ (0952)26-9151	天草 本渡市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
福井 福井市開発4丁目112 ☎ (0776)54-5606	岐阜 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎ (058)323-6010	長崎 長崎市東町1949-1 ☎ (095)830-1658	鹿児島 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎ (099)250-5657
長野 松本市大字笹賀7600-7 ☎ (0263)58-0073	高山 高山市花岡町3丁目82 ☎ (0577)33-0613	大分 大分市萩原4丁目8-35 ☎ (097)556-3815	大島 名瀬市矢之脇町10-5 ☎ (0997)53-5101
静岡 静岡市西島765 ☎ (054)287-9000	三重 久居市森町字北谷1920-3 ☎ (059)255-1380	宮崎 宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2 ☎ (0985)85-6530	
		沖縄地区	
		沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎ (098)877-1207	

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0600

主な仕様

電源	AC 100 V 50 / 60 Hz
消費電力	12 W (電源「スタンバイ」時 約2 W)
外形寸法	430 (幅) × 273 (奥行) × 82 (高さ) mm 突起物を含まず
質量	約 2.9 kg
信号形式	NTSC
許容周囲温度	+5 ~ 35
許容相対湿度	5 ~ 90 % RH (結露なきこと)
対応ディスク	(1) DVD - Video ディスク 12 cm 片面 1 層 12 cm 片面 2 層 12 cm 両面 (各面 1 層) 8 cm 片面 1 層 8 cm 片面 2 層 8 cm 両面 (各面 1 層) (2) コンパクトディスク (CD - DA、VIDEO CD) 12 cm ディスク 8 cm ディスク
映像出力	出力レベル : 1 Vp-p (75) 出力端子 : ピンジャック 端子数 : 2 系統
S 映像出力	Y 出力レベル : 1 Vp-p (75) C 出力レベル : 0.286 Vp-p (75) 出力端子 : S 端子 端子数 : 1 系統
コンポーネント映像出力	Y 出力レベル : 1 Vp-p (75) C _B 出力レベル : 0.7 Vp-p (75) C _R 出力レベル : 0.7 Vp-p (75) 出力端子 : ピンジャック (Y:緑、C _B :青、C _R :赤)

音声出力	出力レベル : 2 Vrms (1 kHz、0 dB、 10 k) 出力端子 : ピンジャック 端子数 : 2ch ミックス出力 : 1 系統 5.1ch ディスクリット出力 (5.1ch) : 1 系統
音声出力特性	(1) 周波数特性 DVD (リニア音声) 4 Hz ~ 22 kHz (48 kHz サンプリング) 4 Hz ~ 44 kHz (96 kHz サンプリング) CD 4 Hz ~ 20 kHz (EIAJ) (2) S / N 比 CD 115 dB (EIAJ) (3) ダイナミックレンジ DVD (リニア音声) 103 dB CD 99 dB (EIAJ) (4) 全高調波歪率 CD 0.002 % (EIAJ)
デジタル音声出力	出力端子 : 光デジタル出力 : 光コネクター 同軸デジタル出力 : ピンジャック

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

愛情点検	長年ご使用の DVD/ビデオ CD/CD プレーヤーの点検を！	
	<p>こんな症状はありませんか</p> <p>煙が出たり、異常なおいや音がある 映像や音声が出ないことがある 正常に動作しないことがある 商品に破損した部分がある その他の異常や故障がある</p>	<p>このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。</p>

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年 月 日	品 番	DVD-RV70
販売店名	☎ () -	お客様 ご相談窓口	☎ () -

松下電器産業株式会社 デジタル AV ネットワーク事業部

〒571 - 8505 大阪府門真市松生町 1 番 4 号